



SHINKAN PROGRAM

脳力覚醒メソッド“芯観”実践講座

芯観プログラム

レッスン4

望む「未来」を実現するための脳科学

脳力覚醒メソッド“芯観プログラム”全貌公開

塚田：皆さん、こんにちは。

石川・小沼：こんにちは。

塚田：脳力覚醒メソッド芯観実践講座、いよいよ最後の Lesson4 をお届けしていきたいと思います。今回も、ナビゲーターは私、フォレスト出版の塚田でお送りさせていただきます。よろしくお願いいたします。そして、今回も講師はお二人、お越しいただいております。まずは、小沼勢矢さんです。よろしくお願いいたします。

小沼：はい、よろしくお願いいたします。

塚田：そして、最後も先生は、脳科学会の「ドラゴン桜」石川大雅先生にお越しいただいております。よろしくお願いいたします。

石川：よろしくお願いいたします。

塚田：いよいよ最後ですね。ここまで 5000 人を超える方にご参加いただきまして、ほんとにありがとうございます。

石川・小沼：ありがとうございます。

塚田：最初、脳科学っていう難しいテーマで、どれくらいの方に参加していただけるのかなっていうふうにはあったと思うんですけども、かなり熱を込めて参加していただいて。何か今、石川先生のほうで感想とかってありますか？ここまでお届けしてきて。

石川：やっぱり、ほんとにご興味いただいて、皆さん方が今必要とするテーマなのかなっていうふうなのは、実感しておりますね。ありがたいことだと思っております。

塚田：小沼さんもありますか？

小沼：コメントをかなり皆さん丁寧に書かれています。

塚田：激アツな。

小沼：それがわれわれとしても、いろいろな気づきとか。石川もそうですけれども、私も含めていろんな気づきがあるので、それが非常にありがたいなと思って、学ぶ意欲を感じています。ほんとありがとうございます。

塚田：普段、企業さんのコンサルに入られてると思うんですけども、そういうところと通じるところと、ちょっと違うところとかもあったりする感じですかね。

石川：コメントの多さというのはいいですね、とっても。読んで「あー、こういうことかな」というのが、逆に学ばせていただいていますよね、コメントから。

塚田：お届けしつつ、学ばせていただきつつ、そういう場としてこういうプログラムを提供してきて、ほんとにうれしいと思っております。

石川：ありがとうございます。

塚田：今回の Lesson4 ということで、前回 Lesson3 の最後でもお伝えさせていただいたんですけども、今までの復習ですね。かなり難しいところと、概念的なお話もしているのでそこら辺をまとめさせていただきつつ、今回は「脳力覚醒メソッド 芯観プログラム」というプログラム、これが全体像どういうふうになっているのか。あと具体的にどういったかたちのことを学んでいけるのかってところを、全編通してご紹介していただければと思っております。ではまず最初に、改めて、「芯観」って一体何なのか？っていうところで、こちら Lesson1 でも少し触れてはいるんですけども、改めて確認をしていきたいと思えます。今日はこちらのスライドをもとに進めていきたいと思うんですけども、こちらには「自分の脳に合ったアプローチで、自分の天才性を活かし願望を実現できるメソッド」というところで、中心にやっぱり合脳的アプローチっていう考え方があるんですよ。

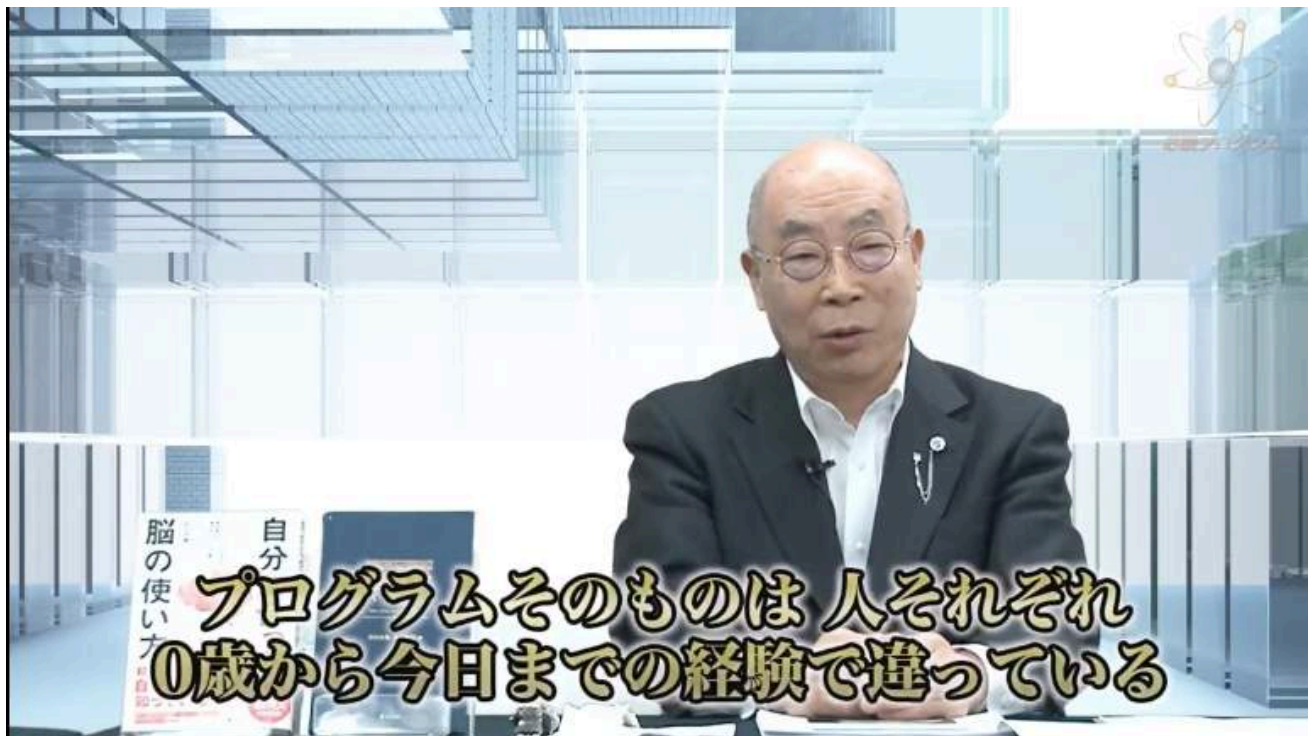
脳力覚醒メソッド“**芯観**”とは？

自分の**脳に合ったアプローチ**で、
自分の天才性を活かし
願望を実現できるメソッド

はい。合脳的っていうのは、言うならば多くの方々が、私も当初そうでしたが、人様が「これがいいぞ」と言うようなこととか、先生がこういうふうに言ったからっていうので、それはある意味で他人のプログラムを自分のプログラムと勘違いしながら生きてることが多いわけですね。ですから、自分のプログラムでしっかり生きる。これが、自分ごと化っていう観点で、自分の脳に合ったっていう観点で、合脳的って言いますか、そこが一番重要なことだろうっていうふうにつくづく思って、合脳的っていうふうに作らせていただいているって、こういう次第ですね。

塚田：初めてそういうことを聞いたっていう方がたくさんいらっしゃると思うんですけども、やっぱり人それぞれプログラムって全く別のものでいいですね。

石川：そうですね。基本的には、私たち、脳と末梢神経ですね。脳のことは中枢神経って専門的に言いますし、こういう脊髄を通じて脳の中に組み込まれてくるわけですから、要するに中枢神経と末梢神経から渡した神経系ネットワークというのができるわけですね。ですから、合脳的なアプローチという言葉を作り出してきた芯観プログラムっていうのは、脳の機能、ハードとしての形作ってる細胞とか構造は同じ、それから基本的な機能っていうのは同じですけども、プログラムそのものっていうのは人それぞれによって、0歳からの今日までの経験体験によって違ってはいるってことは言えますよね。そういう場合両親から受けた遺伝的要素っていうのは、もちろんあるっていうことは間違いない事実だと思いますけれども、ですから何が言いたいかって言うと、やはり人それぞれが、ほぼ全員プログラムが違いますよってこういうことだと思いますね。



塚田：なるほど。それこそ基本的な部分だけは共通しているけど、最初に小沼さんからもお話しいただいた、アフメーションが効く人もいれば効かない人もいるし、みたいなそういう違いは出てきて、それがプログラムの違いであるっていう。

石川：そうですね。アフメーションでも音だけに非常に、言葉を発するっていう言葉の内容そのものに対しては、非常に実感を伴ってそれが自分のプログラムになってるっていう効果を発揮するって場合もありますし、やはり身体感覚的にアフメーションだけじゃなくてインカンテーションっていうことになるとは思いますけど、言葉はあんまり発しなかったとしても、動きをどうするっていうことによって、これ身体記憶とか運動記憶とも言いますけれども、職人さんが物事を作れる、またはスポーツ選手が、アスリートの方がきちとした手順をする。イチロー選手なんかも、ボックスに入るまでの儀式みたいなことがありますよね。一時期、五郎丸選手がこういうふうなかたちでやるっていう、あれは1つの条件反射的な意味合いもあるんだと思いますけれども、きちとした動作を取るっていう身体的な動き、または運動記憶っていうことと結びつけながら自分ごと化してプログラミングがされてるから、安定した心拍数を維持するとかそういうことが可能なんだと思います。キックのスピードも目的とした距離感を出せると、こういうことだと思いますね。

塚田：五郎丸さんのプログラムがない人がこれをやったところで、ただの。

石川：単なる猿真似ってことになりますよね。あのときは一時期、それこそ学校中でも小学生でも中学生でも、はたまた高校大学生までこうやったわけですよ。一般主婦までやったわけですから。じゃあ、五郎丸選手のように目的のところにキックを蹴ることができて、ゴールをキープできた

かって、そうはいかないわけですよ。はたまた、自分がある目的を達成するためにこれを使ったかったら、そうではなくして、ある種のかたちだけをこう、っていうことだと思いますね。

塚田：バッターボックスに入るまでのイチロー選手のマネをしても、プログラムが違ったら意味がないっていう。

石川：そうだと思いますね。イチロー選手から学んだとしたとしても、それを自分の脳に合った合脳的なアプローチをすることによって自分のプログラムにできた人は、それを活かせるっていうことだと思います。ですから、そういう天才的な方から学ぶっていうことを否定してるってことでは全くないわけですね。私は脳科学モデリング研究所の代表もしてるくらいですから、お手本から学ぶことを推奨してる人間でもありますので。

塚田：やっぱり企業さんに入られても、脳に合っていないアプローチをしてしまってる方って多いですか。

小沼：多いですね。例えば、上司・部下の関係とかもまさにそうですよね。上司の方がうまくいってることを部下に伝えるんだけど、部下の方はそれが自分の脳に合っていないことも多々あって、生産性が上がらないと。

塚田：胸が痛くなるような話ですね。そう思われる方も多いんじゃないかなと思うんですけど。

小沼：でも上司の方からすると、生産性が上がってないことに対して、何で教えてるのにやらないんだと。

塚田：言っただろ、みたいな。

小沼：多いですね。われわれ企業さんの現場にも行ってるんですけども、非常にそういうケース多いですね。

塚田：家庭とかでも同じようなことが。

小沼：お母さんがお子さんに、自分のお母さんとしてはうまくいったことを伝えてるんだけど、子どもの脳に合っていないことも多々あるので、非常に多いですね、そういうケースは。

塚田：そういったかたちで自分の脳に合ったアプローチをすると、願望実現の速が上がってくると。それは今日のこの動画で、じゃあどう上がっていくのかっていうのをまた詳しく見ていくというかたちですね。ミッションとして、今回この芯観プログラムでは、自分の“脳の天才性”を発揮して、自分らしく、豊かで幸せな人生を一人でも多くの人に送ってもらいたいっていう石川先生の思いからできたのが、このプログラムだというかたちですね。



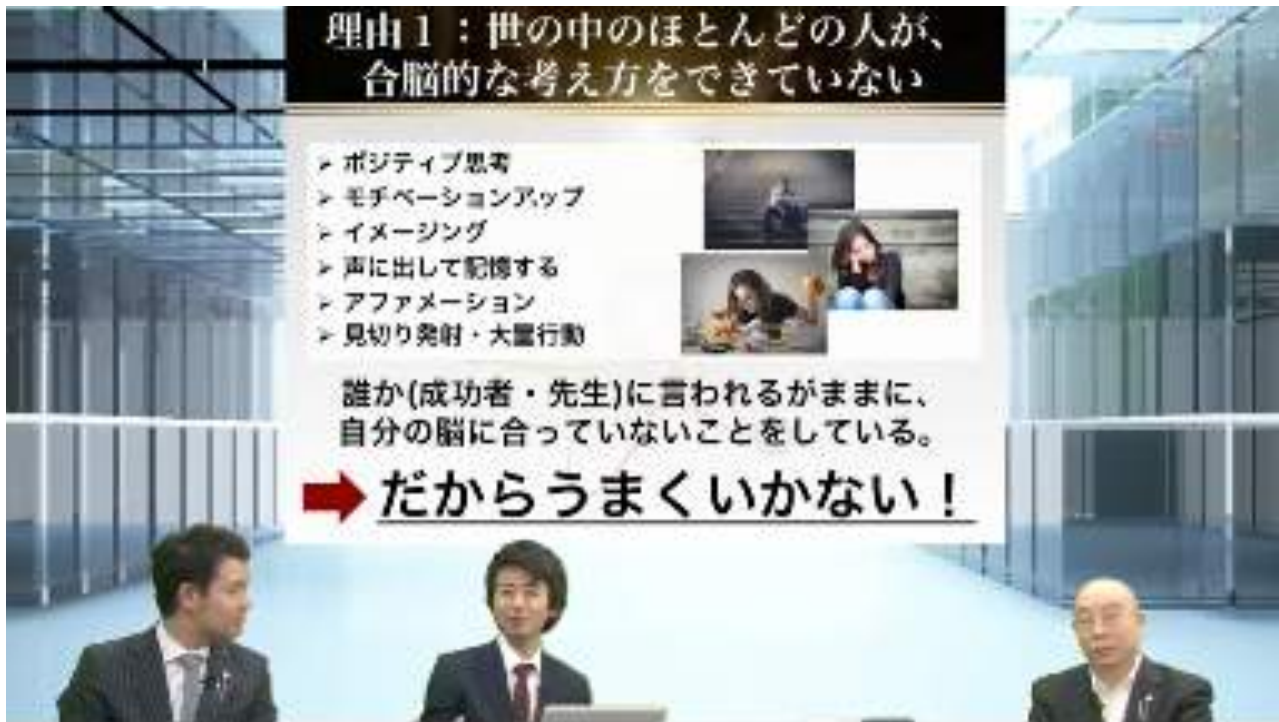
石川：はい。私は長年、企業さんの入り込むことによってお手伝いし、っていうことはやっておりましたから、24歳のときから個人の生産性をどうやって上げるかっていうことと、個人が集ったグループとか集団、組織の生産性をいかに上げるかっていう、この2つのテーマはずーっと自分で極めてきたコンサルタントですので、そういう観点から、やっぱり人間が根本的なところですね。人間ってなあに？ ったら、脳ですから。脳の中樞神経と、先ほど言いましたように、末梢神経とのネットワーク関係ってというのが自分であり、生産性を導く、目的を達成する、願望を実現するってところの根幹をなすところですね。そういう意味からすると、自分らしく豊かで幸せなってところの、自分の天才性を発揮して、自分の願望を実現するってところは、私の最たるミッションですね。

塚田：思考とか感情とかいろんなアプローチあると思うんですけど、その根幹である脳の、その中でも脳の自分の天才性をしっかりと発揮していけば、ほんと幸せな社会になっていくと。

石川：っていうふうに私は確信してますね。

塚田：それは企業さんだけじゃなくて、今回はこういったかたちで、より広いところに伝えていくのが芯観のプログラムの目的になっているという話ですね。ありがとうございます。その思いを受けて、共同開発というかたちでこういったプログラムさせていただいてるんですけども、何で今のミッションがある上で、どうしてこういうプログラムになったのか。3つの理由がありまして、そこについてお話をしていきたいと思います。まず1つが、こういう方がすごい多いということですね。世の中のほとんどの人が、合脳的な考えができていない。という現状があるからこそ、

このプログラムが作られたっていうのがあるんですけども、少しこちら出ているのを読ませていただくと、ポジティブ思考、モチベーションアップ、イメージング、書いてあるところ全てですね。これをやって成功している方もいるんですよ。



石川：もちろん。

塚田：ただそれを成功している方とか、先生に言われるままに、自分の脳に合っていない状態でやっていると、うまくいかないと。こういう方がものすごく多いと。

石川：今、塚田さんは、こういうことで成功なさってる方っていますよね？っていうご質問だったですよ。で、おりますっていうふうにお答えさせていただきました。しかしその方々の成功なさってる方はつぶさに観察して、どうしてうまくいってるのか。こういったポジティブ思考、モチベーションアップ、イメージング、その他書いてあるようなことをやったから、行ったから成功できるのかと。こういうことかっていうふうな。そうすると、これをやったからこうなったっていうふうに、一概に繋がるっていうふうには言えるんですが、そのところをよくつぶさに観察すると、実は合脳的なことをちゃんと、自分に合ったプログラムでやってるってことです。

塚田：成功者の方は、合脳的にこれやってるから、うまくいっただけっていう。

石川：自分にプログラム化しといて、自分に合ったかたちで自分のものとしてやってるって、こういうことですよ。ここが欠落してるんだと思います。

塚田：成果が今のところ出てないっていう方は、そこで合腦的なものに落とし込めていないという。

石川：だと思えます。ある意味では、非常に真面目な方だとは思いますがね。言われたように、学んだ通り、学習した、お勉強した通りにはやってるんだと思えますけれども。自分のものにするっていうのはどういうことなのか、自分の脳に合った合腦的なやり方はどうなのかっていうところには、ちょっと蓋が閉まってる、ということではないでしょうか。

塚田：それこそ最初にお話しいただいた、他人のプログラムのままで、自分に使おうとしてるっていうかたちですか。

石川：ほんとに残念なことなんです、他人のプログラムをそのまま生きようとしてるっていう方で、うまくいかないっていうことで。とにかく時間とお金とエネルギーを投資してるにも関わらず、生産性が思ったより出ないっていうことで、多くの方が悩んでおられるんじゃないでしょうか。

塚田：これが理由の大きな1つであると。こういった理由があって、この芯観プログラム、これまでご提供させていただいて、そういった問題を抱えていた方が変化したっていう事例もあって、それをご紹介、小沼さんから是非していただきたいと思うんですけれども。

芯観プログラム受講生の変化

Before
なにを学んでもうまくいかず、売上も下がり閉店を考えていた。

After
合腦的な学び方を身につけ、学びをビジネスに活かすことで、過去最高益にV字回復！

小林賢次さん
<飲食店経営>

小沼：そうですね。この方は小林賢次さんという方で、千葉でラーメン店を経営されてる方です。当初、われわれのこの芯観プログラムを受ける前は、かなり学びを深めてた方なんですけれども、それが全然結果に繋がらなくて。どっちかっていうとラーメン店がもう経営して10年以上経つんです

けれども、そのラーメン店を閉店しようとしてたんですね。売り上げが上がらずに、それを閉店しようとしていたというのが、受ける前の状態でした。受けた後どうなったかという、ラーメン店は過去最高益になって、そのラーメン店をやめるというビジョンではなく、ほんとに自分の望ましいビジョン、自分が経営してるラーメン店を通じて、どういうビジョンを実現していきたいのかということまで明確になった方なんですね。

塚田：何がそんなに変わったんですか。

小沼：結論から言うと、先ほど他人ごとと自分ごとって話ありましたけど、他人ごとの人生を生きていた自分から、自分ごとの人生を生きれるようになったんですね。つまり、本物の自分ごとのビジョンを描けたということが、この方はすごい大きくて。結局、この方の最初にご参加されたときどう思ってたかって言うと、ラーメン店を閉店して、われわれの会社に就職したいみたいなことをおっしゃってたんですね。やっぱりどうしても動画上、セミナーとかわれわれもさせていただいてるんで、ある種の憧れとか、隣の芝生は青く見えるじゃないですけども、青いっていうのを探してたわけですね。でも、そのために何か自分が必死になってやってるかという、やってないわけですよ。それは他人ごとの、例えば石川大雅だったら、石川大雅先生みたいな人生がいいなと。石川大雅の人生じゃないですか、それは。小沼勢矢は小沼勢矢の人生なんで、それは小林さんの人生ではなかったわけなので、他人ごとなんですね。だから行動もしなかった。でも、この芯観プログラムを受けて、まさに未来記憶ですね。望ましい未来記憶を創って、そこにどんどん行動していくと、まさに自分ごとの人生なので、日頃の仕事に対する姿勢も全然変わってきて、それが数字として表れてきた。

塚田：見事なV字回復を果たしたということですね。

小沼：もともと非常に実力ある方なので、それが今、結果として表れてるというのが、この小林さんですね。

石川：あと、小林さんが言えるのは、努力っていうことが難行苦行のようなかたちのことをしていく取り組みをすることが、努力をすることだっていうところがありましてね。私がよく使う言葉ですが、ラクラクスイスイってというのが一番いいんじゃないでしょうか、効果的ですねって話のときに、なかなかラクラクスイスイってのが入らなかったんですが、ラクラクスイスイっていうことが、自分でもそれが許されるんだってということが受け止められるようになって、自分のプログラムになったときには、非常に変革されましたですね。

塚田：自分のプログラムになると、ラクラクスイスイになるってこと。

石川：そういうことですよ。何も苦勞することないじゃないですか。

塚田：そうですね。苦労しないで済むんだったら、したくないですよ。

石川：難行苦行をするようなことが努力だっていうふうに前提をお持ちの方っていうのは、結構世の中に多いようにお見受けしますね。

塚田：それって他人のプログラムで生きてると、難行苦行になるからっていうところもあるんですかね。

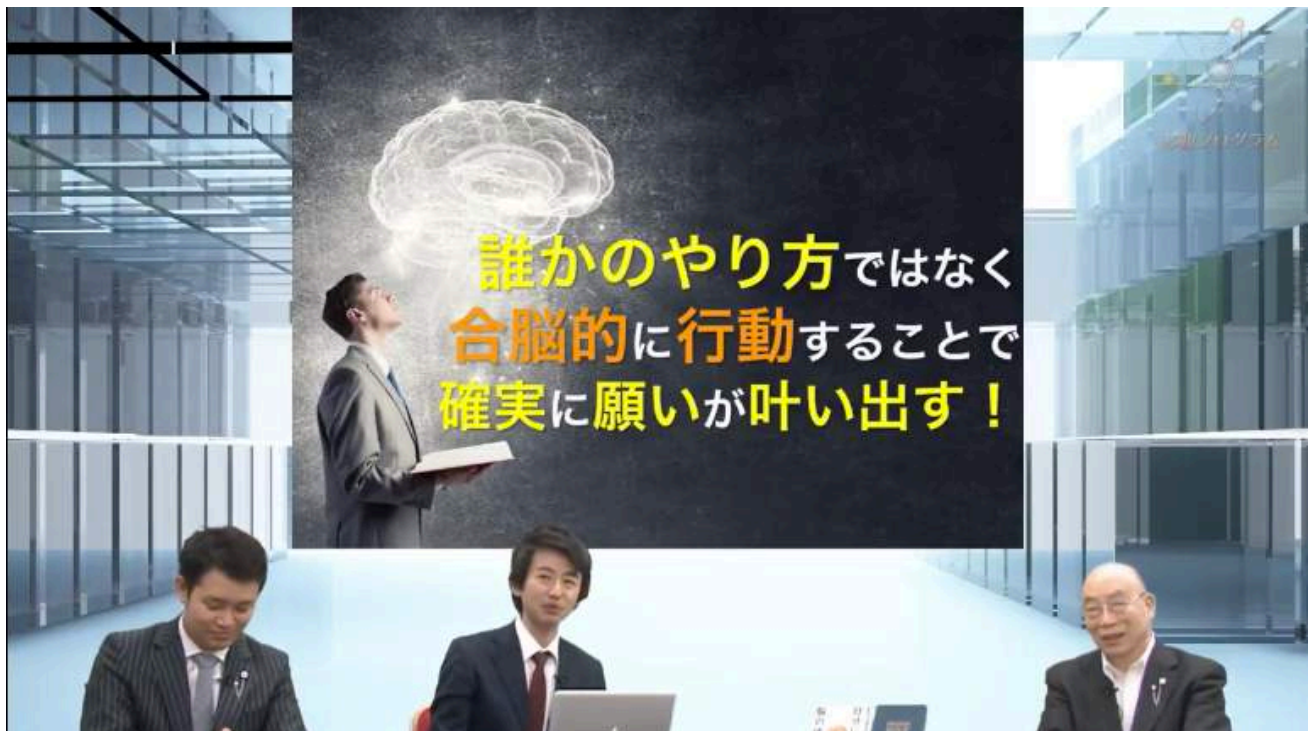
石川：それはそうなんじゃないでしょうか。自分に対するフィッティングっていう意味で、質がよくないわけですから。

塚田：でも、あの人の方がうまくいってるんだから、辛くても頑張ろうみたいな。

石川：そういうことですよね。

塚田：もったいないですね。

石川：もったいないと思います。ラクラクスイスイだと思います。



塚田：ラクラクスイスイですね。合脳的アプローチのキーワードは、ラクラクスイスイというかたちで。まさに誰かのやり方、第三者的なものではなく、合脳的に行動すれば、確実に、ラクラクスイスイで願いが叶い出すというかたちがあるということですね。それが理由の1つ目という

かたちになります。続いて、理由の 2 つ目ですね。まず、合脳的な教育を受ける環境がないというところが、今回プログラムを立ち上げた理由の 2 つ目になります。やっぱり今は、ほとんどがこちら出ている通り、足し算の。普通がこういう教育になってしまってるということなんですか。

石川：そうですね。残念ながら日本では、足し算の教育になってると思います。ですから、新しい知識を足し算的に加算してって学ぶってことですよね。それがゆえに、既に知ってることに会おうと、もう既に知ってるからいいよっていう、こういうふうな消去してしまうって学び方ですよね。

塚田：Lesson3でもお伺いした、RASがかかって。

石川：RASがかかるんだと思います。これは残念なことだと思いますね。

塚田：そうすると、学べば学ぶほど可能性がどんどん狭まっていってしまうと。

石川：そういうことですよね。ですから、足し算の学びって言いましょうか。これですと、絶対的に今日では Google に勝てないわけですよね。Google 年中無休ですもんね。あれクーデター起こしませんよね。文句も言いませんしね。

塚田：調べれば何でも教えてくれて。

石川：なんせ無料ですしね。Google さんとか Yahoo! さんっていうことに関しては、知識を足してくださうっていう学び方っていうのは、もうかなわないってことだと思います。ですから、どうしたらいいかっていうのは、やっぱりかけ算だと思いますね。

塚田：こちらですね。理想の教育としては、かけ算で既存の知識と新規の知識、これの化学変化を起こして、学んだこと以上に成果が出る、認知心理学のアプローチに変えていかなければいけない。

理由2：合脳的な教育を受ける環境がない

現在の教育

足し算の行動心理型アプローチ
→ 学べば学ぶほどRASが発生



理想の教育

**既存と新規の知識が科学変化を起こし、
学んだこと以上に成果が出る！**

(認知心理学的なかけ算のアプローチ)

➡ **記憶をプログラミングすることが重要**

石川：そういうことですね。特に日本の場合は、社会的な背景っていうのがあると思います。教育の犠牲者っていうふうに思いますね。文部科学省に対する反抗しようとか、異議を申し立てるとか、そういう意図はあるわけじゃないんですが、ある意味での、教育の犠牲者だと思います。

塚田：基本的に、日本だと足し算で教わっていくというかたちです。

石川：どういうことだったら、学校の先生が正解を教えるっていうことが主ですよ。正解から学ぶっていうことに関しては、問題を見たら正解を解くっていう。正解がすぐ出てくると、条件反射的です。これは、お受験とか受験の勉強にはすごくいいと思いますが、自分の頭で気づく、脳で気づく、それから自分の頭、脳で考えるっていう力は弱くなってきてしまうかなと。

塚田：正解パターンがどんどん頭に蓄積されていってるだけっていう。

石川：そうですね。それを導き出して使えばいいということだと思いますけれども。やはりかけ算っていうのは、新しいことと既存の事柄のかけ算ということですから、そこに化学変化が起こりますから、ある種のひらめきが起こる。既存の事柄と、そこに新しいことが入ってきたとすれば、こういうこともできるだろうなっていうことへの思いつきがあったっていいわけですね。ひらめきであるとか、気づきであるとか。これが促進して、自分の成すべきこととか目的と一致したかたちでもって、ひらめきとか気づきが起こったならば、これはいいことですよ。なおかつ、自分の中での発想ですから、第三者からの押し付けって言いましょうか、これが正しいんだっていうことに関する、それをやろうとする第三者の他人のプログラムで生きてるってことではない

ですから。

塚田：自分の知ってる既存の知識と、新しく入ってきた新しいプログラムを掛け算して、生み出してるっていう。

石川：そうですね。掛け算って何かあったら、1つにはひらめきですよ。それから、アイデアが思い浮かぶっていうことですよ。ですから、非常に自分が成すこととの関係で学べてるっていうことですね。これは1970年くらい、アメリカを中心とした認知科学とか認知心理学が出てきた学習方法っていうことになりますから、残念ながらまだ日浅いことは事実なんですよ。しかしながら、認知科学、認知心理学が興る前からしても成功者はほとんど、この掛け算の学びの仕方をしてたってことが起こったわけですね。

塚田：ありがとうございます。そういったかたちで、学び方を変えるっていうところあったと思うんですけども、これもまた学び方が変わったことで、変化があった方がいらっしゃると。

芯観プログラム受講生の変化

青山真美さん
<一般社団法人アイアム代表>

Before
仕事を辞め、離婚し、人生最悪の状態だった。

After
失敗人格を適応し、社団法人を立ち上げ、年商213億円の企業からコンサルオファーが！

小沼：青山真美さん。一般社団法人アイアムという、このアイアムという名前にも実は由来があるんですけども、この方はまさに足し算学習から掛け算学習に変わった方で。この方、芯観プログラム、この動画講座ですね、見ていたときは実はクロアチアで見ていたんですね。海外受講で、この動画を皆さんと同じように見ている、それはなぜクロアチアだったかという自分探しの旅に出ているんですよ。

塚田：すごいですね、クロアチアまで。

小沼：仕事を辞めて、ちょっとプライベートでもいろいろ問題があって、かなり自分の中で落ち込んでいるときに、今後自分はどうしたらいいんだろう？ということで、クロアチアでこの動画講座を見ていただいて。ほんとにそのとき、いわゆる仕事にも就かずに、定職にも就かずに働いてもなかったんですけども、今どうかというと、社団法人ですよ。代表になり、立ち上げて。書かれているように失敗人格、彼女はあったので、それを処理して適応して、今は年商 213 億円の企業からコンサルティングのオファーが来ているということです。

塚田：何が何だかっていう感じなんですけど。これは学び方とか教育で受けてきたものから変わったっていうのが大きかったですか。

小沼：彼女の場合は、前職が教育機関に携わってた方だったんですよ。

塚田：中枢ですね、教育の。

小沼：まさに他人ごとの学び方、例えば人から教えられた正解、不正解で判断するとかっていうものが染みついていたんですね。さらにそれが失敗人格になっていた。石川大雅や私から、それに対してご支援させていただいて。自分の学び方って何なんだろうということで、実はさっき言ったアイアムがまさにそう、アイアムって日本語に訳すと？

塚田：私ですね！

小沼：自分らしさとか、そういったものを自分が体験したこと、芯観プログラムで実践していたことを、ぜひこの社団法人でも伝えていきたいということで、彼女は失敗人格とか芯観で学んだことを、この社団法人でもやられているんですよ。

塚田：すごい、自分を取り戻したんですね。他人の状態から。

小沼：そうです。というかなり、いろんなストーリーがあった方です。

塚田：この社団法人名、すごい響きますね。アイアム、誰しもなりたいですもんね。素晴らしい。

小沼：そういった方もおりましたね。学び方ですね、まさに。

塚田：1回もう大人になってるからどうしようもないってということではなくて、今からでもいくらでも変えていくことができると。それが大きな理由の 2 目になってるという話ですね。ありがとうございます。続いて 3 目ですね。これも非常に大きなところで、脳をマスターしないと、本当の

意味での引き寄せが起こせない、というところで。やっぱり引き寄せの法則とかそういったものが流行っている中で、通常の今こちらに書いてある通りの、ビジョンを明確にしたり、イメージしたり、心地いいことをしたり。叶う人もいれば、なかなか実現しない人も多いうという現状があると思うんですけども、これにも問題意識を持たれていると。



石川：引き寄せっていうのは、学術的な専門用語ではありませんので、これは有り体な一般用語だと思いますね。引き寄せのもとになったものっていうのは、カール・グスタフ・ユングっていう、スイスの20世紀の方ですよ。有名な方ですけども、この方がシンクロニシティっていう、訳するならば、日本語として訳されてるのは、共時性ですよ。共に、時間の時、共時性っていうふうに言いますが、これはビジョンを明確にするとか、ありありとイメージングすること、それから心地よいことをイメージするとかっていう、ヌミノース感情とも言うわけですけども。基本的には、それは必要なんですけども、それをやったからって、引き寄せって言いますか、共時性、シンクロニシティは起きないんですよ。

塚田：起きないんですね、これだけだと。

石川：起きないです。ですから、引き寄せっていうかたちで学んだ方が、引き寄せが来ないっていうふうに、ことだと思えます。引き寄せが来ないのは、行動を起こさないからとかっていうことと、検証しないからだっていうことが1つには言われますけれども、そこだけではないんだと思います。この芯観を学んだ方々が、いわゆる引き寄せが起こりますっていうことが、よく報告あるんですね。石川大雅は、引き寄せという言葉も使わなくはないですけども、それよりも招待状

が来るっていう、招待状が来るからねっていうことをよく言うわけですね。どういうことかって言いますと、カール・グスタフ・ユングがシンクロニシティっていうことを研究するときの、大きな共時性が、シンクロニシティが起こる要素っていうのは、2つの要素っていうのをよく重要視してまして、これは原形っていう、己の原形ですね。これはギリシャ神話とかそういうところから取ってきてるんだと思いますけれども、そういうこととか、もう1つは個性化っていうわけですね。

塚田：原形と個性化ですね。

石川：これ実際に日本語に訳されたものが出版されてますけど、日本でも。まあとにかく、読んでも難しいですね。これ一言で言うと何かっていうと、自分のことをよく分かっていう、要はそういうことなんです。自分のことをよく分かりなさいよっていうことは何かっていうと、自分を磨けて話なんです。自分を磨くってことはどういうことだったら、何かしたら、これは人格っていう話。石川大雅はこれを人格っていうふうに見つけて、いわゆる成功人格っていうふうになったときに、成功の磁場。これ後ほど出てくるとは思いますけれども、そういうことがあるんで、その賛同者が現れるがゆえに、一緒にやりたいとかオファーが来て、招待状をくれるってこういうことがたくさん起こってくるって、こういうことだと思います。

塚田：Lesson2で学んだ、失敗人格に適応して成功人格を確率すると。これをすると、起こって、それが、ユングさんが言っていたことに繋がると。

石川：まさに個性化っていうところの、それを具体的にどうやって解決するかって話のところですね。

塚田：数百年の時を経て、人格という考え方で。

石川：ですから、ここを見つけたときには一人でぬか喜びと言いましょか、カール・グスタフ・ユングさんの一部を越したなど、お祝いしてワインを飲んだ記憶がありますね。気をつけなきゃいけないのは、引き寄せっていうのはうまくいくことだけを引き寄せする、自分の願望実現のために引き寄せっていうふうになるとは思いますけれども、多くの方はこちらのほうが現実的になってるんじゃないでしょうか、失敗を引き寄せるんだっていうことです。失敗人格のときには失敗を引き寄せる、この最たるものだと思いますよ。

塚田：成功人格になると引き寄せるってことなんですけれども、そこは何か脳科学的な側面などもあったりするんでしょうか。

石川：やはり成功人格っていうことになったときには、極めて重要な能力が高まるかと思えます。発揮されるかと思えますね。それはいわゆるIQを代表とする問題解決能力っていう観点での、認知能力。これどうして認知能力か、もう既に学ばれたと思いますけれども、第三者から見てこういう

能力があるねってということが、テストなりで証明できるっていう意味で、認知ですね。

塚田：だから認知なんですね。

石川：それに対して、第三者がテストしにくいのが、非常に効果的な能力。社会的な能力もそうですね。人の気持ちがわかる、空気感が読めるとかっていうのを、これは非認知能力って言われます。非認知能力っていうことに関してはどういうことだったら、自分の志っていうことが本当に志なのか、どこまで志を述べられているのか。自分の物事を成し遂げようとする目的に対して、本当の本気度がどのくらいなのかっていうことに関しては、測定テストっていうのは受けたことありませんでしょうか。

塚田：できないですね、点数とかつけられるものじゃないですね。

石川：ですから、これは認知できないんですけども、しかしながら認知できないからと言って、第三者の人たちも分からないかなって言うと、そうじゃないですよ。この人本気なんだ、本気度が高いとかっていうのは感じ取れますでしょう。そういう能力っていうのが、非認知能力なんですよ。

塚田：確かにそういう方のほうが招待しようって、する側も思いますよね。

石川：そうなんです。ですから、声がかかりますよね。場合によっては、やろうとしてることに關しては、協力するから一緒にやらしてくれとかっていう、こういうことですよ。これは招待状でもあるし、ですからこれが、いわゆる引き寄せってことになるんだと思います。

塚田：よく例で、家に一人でいても引き寄せ来ないってお話あったりすると思うんですけど、むしろ非認知能力が高まって成功人格になれば、どんどん外に出てしたくなるみたいな側面もあったりするんですか。

石川：そうです。シンクロシティとか共時性っていうことでしたけれども、私はこれを企業の中で、シンクロシティが起こすためにはどうしたらいいのかっていうところを長年提供してきてましたもんですから。そうすると、企業の中の志ってのは、企業理念とかってことですね。フィロソフィーとかっていうことになるわけですけども。これを全社員が生きて活動してるかどうかっていうところが、賛同者を呼びますから。これは別の表現をすれば、ブランディングとかっていうことになるんだと思いますけれども。ブランディングというのは、一つの引き寄せの道具でもあるわけですよ。ですから、環境にやさしいとかっていうふうには言葉で言ったとしても、ほんとは行動そのものが、全社員がそういうふうなかたちでやってるかっていうことですよ。その本気度っていうのが伝わるわけですよ。いくらテレビコマーシャルを使ったとしたって、それを発信したからって、そうはなかなか伝わるもんじゃないですから。ブランディングっていうもの

を作るっていうことも、1つの引き寄せの道具なんだってことです。

塚田：ほんとに企業でも、引き寄せって起きてくるものなんですね。

石川：そうですね。私は、引き寄せって言葉は使いませんが、企業の場合にはシンクロシティとか、共時性っていう言葉は使いますが。あまりにも、カール・グスタフ・ユングが言ったようなかたちを中心としたっていう展開はしませんけれども。ですから、企業は法人格と言いますね。法人の人格とも言われますね。何のためにわが社は、わが組織は、非営利団体も含めて、一般社団法人もそうですけれども、何のために存在してるかっていう、存在理念とかっていう。理念、フィロソフィーっていうのは、そのためです。それをきちんと体現して活動してるかどうかっていうのは、共時性を生むっていう、極めて素地になります。

塚田：なるほどです。ありがとうございます。今お聞きしたお話少しだけまとめさせていただくと、脳科学的には引き寄せを起こすアプローチは、いきなりビジョンとかを明確にするのではなくて、人格を整えて非認知能力を高めて、その上で明確にイメージすると、どんどん招待状が届く状態が作られてくると。これも実際に、もう成果を出されている方がいるんですよね。

理由3：脳をマスターしないと
本当の意味での引き寄せを起こせない！

通常のアプローチ

- ビジョンを明確にする
- ありありとイメージする
- 心地いいことをする

脳科学的アプローチ

- 非認知能力を高める
- ビジョンを明確にイメージ

本当に叶えたいことが
なかなか実現しない……

招待状が次々届き、
望む未来が実現する！

小沼：そうですね。この方は森田直美さんで、神奈川県も横浜ですね。音楽教室を経営されている方です。この方も芯観プログラムを受ける前は、音楽教室もどっちかっていうと趣味程度で、細々とやっていたんですね。でも今は、さっき話があったように招待状がどんどん来て、その音楽教室もスタッフを雇うまでになって。かつ、この方は音楽教室だけではなく、個人でビジネス経験ゼ

口の状態から 100 人規模のイベントを成功させたりとか。あとは今、ご主人が設計士の事務所をやられてるんですけども、その経営をうちにやってほしいということで、なぜかっていうと芯観プログラムで学んだことをうちの事業で何とか活かさせないかっていうことで、ある意味、旦那さんのコンサルみたいなかたちでやられていて、そういうふうにより事業が多角化されている方で、ほんとに一主婦だったんですけども。

芯観プログラム受講生の変化

Before
主婦業の傍らで、趣味で音楽教室を運営していた

After
招待状が次々届き、音楽教室の規模拡大。スタッフを雇うほどに。100人規模のイベントも成功！

森田直美さん
<音楽教室経営>

塚田：その前は旦那さんの事業も全然手伝ったことは。

小沼：全くないです。やってなかったです。自分の音楽の教室を、趣味でやられていたという方でした。

塚田：とんでもないですね。数か月のレベルですよ。

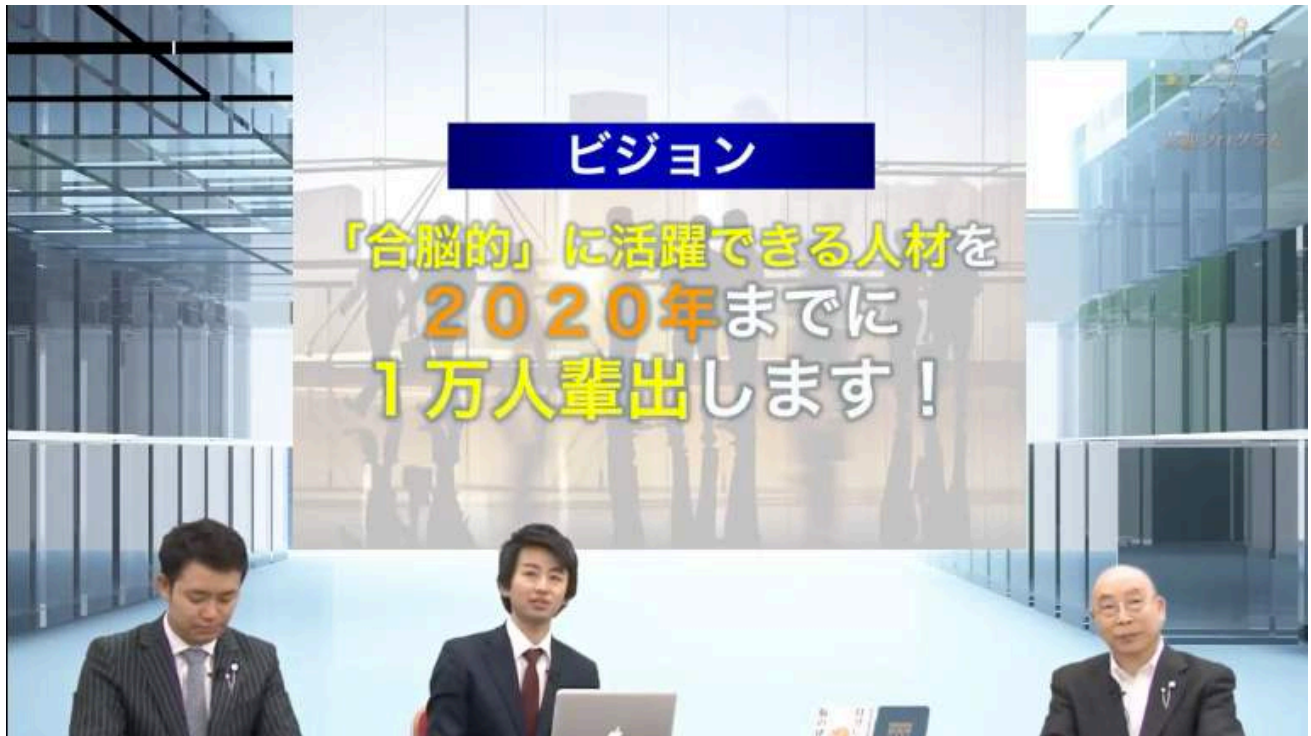
小沼：ほんとに早い方でしたね。

塚田：そこは人格が整って、成功人格が確立されたからって話ですね。

小沼：そうです。どんどん招待状が彼女のもとに届いていったということですね。

塚田：すごいですね、ほんとに。というかたちで今、理由3つお伝えさせていただいたんですけども、世の中の多くの人がほとんど知らないようなところで、でもこれを確立することによって、すごくたくさんいいことが待っていて。実際もう成果を出されている方もいるというかたちでここ

まで立ち上げて、このようにお届けさせていただいています。で、ビジョンですね。こちらの「合
腦的」に活躍できる人材を、2020年までに1万人輩出するというかたちで、これは理想的な数字
ではなくて現実的に目指してる数字なんですよね。



石川：はい、そうです。

塚田：1万人っていうのも、現実的な数字なんですよね。

小沼：そうですね。この1万人っていう数字に関しては、芯観プログラムを学んだ本人もそうですし、先ほどの森田さんの事例で、学んだ人が芯観を伝えることによって、伝えられた人もまさにこのビジョンである、合腦的に活躍できる人材になっていただくということで、学んだ本人もそうですし、もっとこの芯観というメソッドがより多くの人に伝わることで、その伝わった人たちもこういったビジョンに賛同していただけるんじゃないかなということは、強い思いとして持ってますね。

塚田：それこそ、この動画を見ている皆さんにも、ぜひ先ほどの3つとか共感していただけたら伝えていただきたいという話ですね。ありがとうございます。といったビジョンを掲げてお伝えさせていただくプログラムになっていまして、こちら特徴ですね。こういったものが改めて見たいと思います。まず今回、実践講座。この無料動画プログラムでは、天才性プロファイリング、それから脳科学ラーニング、2つの切り口で、この芯観メソッドを、一部をお伝えさせていただきました。天才性プロファイリングのほうでは、とにかく自分の脳のプログラム、これがどう

なっているのかを分かって、活用して、更新していく。そういった内容として、人格と天才性、それからキーワード、ジャンプ、ジャンプ、横ですね。皆さんやっていただいていますかね。こういったものをお伝えさせていただきました。それから脳科学ラーニングでは、自分の脳をどう効果的にプログラミングしていくのかというところで合目的に学んだり、あとはメンターがどういう存在なのかというところですか。



石川：そこが大きいですね。

塚田：そうですね。やっぱり一般の方はメンターってどうしても先生、それも正解を教えてくれる人っていう、ところが違うんだよっていう。

石川：うちでは、小沼さん自身は私のメンターもやっていますからね。もちろん私も小沼さんのメンターもしてる。相互メンターってのはすごく重要なことです。

塚田：内容と立場が違えば、いくらでもお互いメンターになれるという。

小沼：おっしゃる通りだと思います。

塚田：ありがとうございます。そういった効果的な脳のプログラミング、一般では分からないようなところもお伝えさせていただきました。これによって改めて芯観メソッド実践していくことによって、まず生産性が高まるというところですね。ここもう既にコメント欄でもいただきましたけれ

ども、もう体験されてる方、実際に出てきてらっしゃると思います。この無料実践講座の中でもですね。そこから今後繋がっていくのが、ありえない結果、こういったものに繋がってくると。そして、次々と願望が実現されていく。先ほどの、脳科学的な引き寄せがどんどん起きていく。ってところが、できてくるということですね。ここからですね、芯観メソッド。
先ほどのこちらですね、2つのところですね。これをメインにお伝えをさせていただいたんですけども、より細かい願望が実現されるってところの全体像。ここをお伝えするにあたって、脳がどういうプログラムで動いているのかっていうところが重要になってくるんですよ。ってことで、こちらの図にまとめさせていただきました。前回 Lesson3 の参照データベースのところでも少し触れていると思うんですけども、脳の中に3つ、未来と過去と現在の記憶があって、これを矢印で繋がっているということは相互に使っていくと。



石川：相互に使っていくってところですね、そこが一番重要なところですよ。人間の脳の機能、メカニズムっていうのはそういうふうに行けるわけですから。

塚田：じゃあ未来だけ、ビジョンだけとかく明確にするみたいなやり方もあると思うんですけど、それでは。



石川：それだけ持ったからといって、うまく機能するかって、そうはいかないですね。望ましい未来を定めたとするならば、それを実現するためってということに関しては、一番重要なことってというのは現在。現在何をどのようにしてるかっていうことですね。現在、現在、今、今ってことだと思います。それを機能させるためにはオイルとガソリンって書いてありますけども、過去の記憶ってのはものすごい重要ですよね。オイルは基本的なソフトに相当するところですから、なおかつガソリンはここにもありますし、応用ソフトの分野ですよ。アプリケーションとかまさにそうですから。やっぱり重要なのは、過去の自分の記憶っていう観点で、OSの基本ソフトのものが何があるかっていうことと、これはまさに未来の記憶をどこに何を成したいのかっていうことのために、現在の記憶でもってOSのバージョンアップをするっていうのが、実は肝なんですよ。

塚田：なるほど。ビジョン立てても、そのOSが旧バージョンのままだったら、いつまでも変わらないよっていうことですね。

石川：そういうことなんです。このガソリンだけは、入れればエンジンは高回転できるなっていう思いがちなんです。オイルのところは潤滑油ですけども、基本ソフトは潤滑油なんで、ここがバージョンアップしない限りにおいては、新しくどんどんアプリケーションだけガソリンだけ注入したからですね、エンジンは高回転になるかと、そうはいかない。

塚田：プツプツ、みたいな感じで、全然うまく走らないぞ、みたいな。

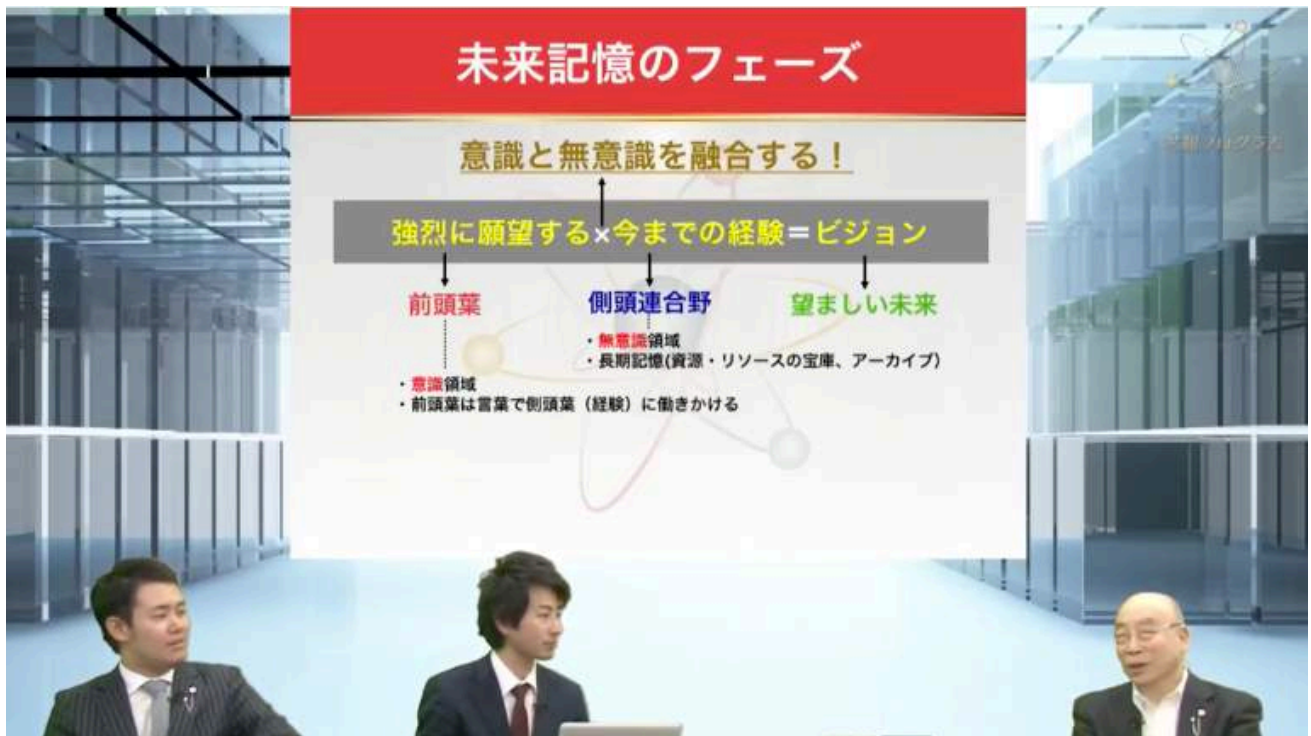
石川：パソコンで例えれば、基本的なソフトがWindows 何とかがっていうやつだと。それが旧来のままだ

とすれば、新しい革新的なアプリケーションを入れたとしても、うまく機能しないと、こういうことですね。

塚田：ありがとうございます。芯観プログラムでは、この3つの記憶をうまく組み合わせて活用していくということなんですよ。

石川：そうですね。

塚田：1つ1つ、より詳しく見ていきたいと思うんですけども、まず未来記憶のフェーズですね。書いてある内容、初めて見る図だと思いますので少し読ませていただくと、まずビジョンを創るためには、強烈に願望する×今までの記憶が必要だっていうかたちになってくるということですね。過去の記憶が必要になってくるんですか。



石川：そうなんです。なぜなのかっていうことなんですよ。未来のビジョンを創るためには、最初にやらなきゃいけない作業っていうのがありましてね、これはイメージするっていうところからいくんですね。ですから、イメージするっていう意味での想像ですね。これはイメージするためには、材料は過去なんです。

塚田：そうですね。自分の記憶にないことはイメージできないですよ。

石川：ですから、イメージをするためには、過去の質がとっても重要だということです。過去の記憶の質が重要だっていうことです。

塚田：これは普通に思い出せるレベルの表面的な記憶ではなくて、書いてある無意識領域、側頭連合野というのが、無意識が入ってるものなんですか。

石川：ここにあるわけですね。記憶のデータベースって言いましょうか、ネットワークです。

塚田：これ今までの学んできたこととかが全部詰まってる。

石川：そうです。これは自分の経験、体験したってということが一番の資源、リソースになるわけですが、成功者の方のものを疑似体験的に利用するっていうことも可能なわけですね。

塚田：なるほど。そのために書籍とか、セミナーとかをされると。

石川：そのために書籍、本を読むっていうのは重要ですよ。見に行くとかですね。石川大雅はよく、美術館に行ってください、博物館に行ってくださいっていう推奨をしますよね。なおかつ、本物を見てください、一流を見てくださいっていうオススメをします。

塚田：それは側頭連合野、無意識の領域に良質な記憶を。

石川：貯えようって企みですよ。

塚田：これには、強烈に願望するってところが、前頭葉、意識領域ってありますけれども。

石川：そうです。これは前頭葉、これは意識領域ですよ。だから強烈に願望するってということに関しては、1回願望したからほっときやいいって、そういうことじゃないですね。今記憶のところにも通用するんですが、そのときどき、そのときどきに強く思うっていうことが重要です。願望するってことは、思うっていうことですから。

塚田：じゃあこの強烈に願望するってというのは、未来を願望するってこと。

石川：未来を願望する。望ましい状態を願望する。何を成し遂げたいかっていうことと、どうしたらいいかっていうことを、自分に言うってことですよ。

塚田：その資源を、無意識のここに入ってる記憶のところから引っ張り出してきて、かけ算をする。

石川：そうです。かけ算をするってことは、矢印が上のほうに行っておりまして、意識と無意識を融合するってことになりますよね。

塚田：前頭葉と側頭連合野が融合していくという。

石川：意識と無意識を融合するっていうことに関しては、変性意識状態を作ることになるんですが。変性意識状態というのは、テレビをボーッと見てときの脳波、脳の状態っていうのも変性意識状態とも言えるんですが、そういうような変性意識状態とはちょっと質が違うんですね。ですから、望ましい状態を強く願望する、思うっていうことが重要ですね。こうなりたいと、こうするとかっていうことですね。それと共に、過去を結びつけるための変性意識状態。これは、脳波的にはシータオシレーションっていう脳波ですね。シータ派っていうのは瞑想しているときの脳波なんですけど、ものすごく強烈にものを考えたりなんかするっていう、脳が活動している状態っていうのはガンマ波ってのが出て、それがオシレーションっていうのは重なってるっていう。それは直近の脳波の研究では、成功と脳波の関係では、このシータオシレーションが非常に優れてるっていうところまでできてますね。



塚田：なるほど。じゃあ瞑想状態でありつつも、強く願望しているっていうのが、この。

石川：シータオシレーション。

塚田：この脳波のときに強烈に願望して、今までの経験からデータを引っ張り出してビジョンを創ること、本物のビジョンが出てくるってということなんですね。

石川：そういうことですね。強烈に願望するって意識の部分と、今までの経験、体験っていう側頭連合野のリソース、材料ですね、これを結びつけるための脳の状態ってものがシータオシレーションの脳波。すなわち、変性意識状態だと思います。

塚田：じゃあこれまでビジョンを創ろうと思ってなかなか出てこなかった人も、この状態できちんと創れば、どんどん出てきてってかたちにしていけると。

塚田：ありがとうございます。そういったかたちで、前頭葉と側頭葉。それこそ、今と過去。これをかけ合わせることで、ビジョンができると。

石川：そういうことなんです。

塚田：既に全部かけ合わさってますね。ありがとうございます。その上で、ビジョンを創った上で、過去記憶のフェーズでは、まず望ましいビジョン。先ほどのやり方で明確にしてから、実現のためのリソースを個人史から発見するってことで。一般的な自己分析って、まさに今やると思うんですけど、そうじゃないってこと。

過去記憶のフェーズ

- ① Dream Big
- ② Set goal
- ③ Take Action

まず、**望ましい未来**を明確にして…

実現のための**リソース**を**個人史**から発見する！

望ましい未来実現の武器として、OSとアプリケーションの天才性を活用する！

石川：そうですね。ですから、自分探しってということに関しては、全く無意味だとは言えないんですが、自分探しを徹底的にすれば成功するっていう保証性は、何らありませんね。自分探しっていうのは何のための目的でやるかっていう、最初の望ましい未来を確定するっていう、望ましい未来を自分で確定して持ちながら、そのために過去のリソースとして過去記憶を資源として使っていくと、この順序がとても重要だということだと思います。

塚田：この側頭連合野に詰まってるデータをうまく使っていくというかたちですね。

石川：そうです。自分の中の記憶としてないんだったら本からでもいいし、人様の意見でもいいし、体験、記憶でもいいしっていう、それをある種の疑似体験化して自分のものにするっていうところが、すごく重要。自分のものにするためには、今記憶っていうところですよ。

塚田：ありがとうございます。過去記憶では、望ましい未来実現の武器として、OS とアプリケーションの天才性を、どちらも活用していくというかたちですね。過去記憶を使っていく上で、現在の記憶もすごい重要だってお話だったんですけども、どう関わってくるんでしょうか。

現在記憶のフェーズ

CPU (命令塔) ハードディスク (記憶装置)

失敗人格のとき
→ 失敗するためのデータにアクセスし、落ち込む、自分を責める、怒るなどネガティブになる指令を出す

成功人格のとき
→ 成功するためのデータにアクセスし、うまくいくための指令を出す

成功人格でいることで、未来記憶と過去記憶から成功するためのデータだけを引き出せる！

石川：現在記憶っていうのは、それを司ってるのはワーキングメモリっていう。どっかで最近をよく聞くようになりましたけど。

塚田：Lesson3 でも少しお伺いした。

石川：ちょうど、ここですね。

塚田：サードアイですね。

石川：仏様でいうイボみたいなところであり、ヒンドゥー教でこういう印つけますよね。ですから、昔からワーキングメモリっていうことは分からなかったとしても、そこは重要だっているのは分かってたというふうに意味づけするとすれば、すごいなとは思いますが。このワーキングメモリってのが、現在記憶をコントロールして司ってるってということだと思います。ワーキングメモリは、パソコンでいうところの CPU、命令系ですね。演算系を司ってるってということと共に、現在記憶っているのは今の記憶なんですね。ですから 20 秒程度のメモリってということになると思います。現在記憶は、知覚したものをどうやって脳の中に入れていくか。知覚は入っていくんですが、記憶にするかどうかという、長期記憶化するかっていうことに関しての最初の入り口のところは、現在記憶のワーキングメモリが機能させてるってことだと思います。

塚田：ワーキングメモリの短い時間の中でそこに入ってきて、取捨選択されていくっていう。

石川：海馬っていうところに送り込んでいって、取捨選択しながらってということだと思います。もう 1 つ重要なのは、なぜここに過去記憶との関係で未来の記憶、過去記憶っていう観点で、オイルとガソリンがエンジンってところの現在記憶かっていうところと結びつくかということになるんですが、過去の記憶を現在の活動、行動、望ましい未来を実現するためにどういう考え方に基づいて、どういう活動、行動をしたらいいのかっていうことを決めようっていうのは、過去からの資源を今に使うから、データを使えっていう。過去のフォルダから、今使えるような状態に引き出してくるっていう役目が、この現在記憶なんです。

塚田：あるだけのものは使えないけど、現在記憶が引っ張ってくるから初めて使えるようになってくるということですね。

石川：そういうことです。今度は望ましいときにオイルの部分と、要するに過去記憶と、OS の部分と、アプリケーションとしてのガソリンとの過去記憶ってものが、ある意味で足りないな、稚拙だなんていう場合については、外から入れる必要性あります。本であるとか、人様を見るとか、動画を見るとかって、学習ですよ。ですから、その役目もする。だから過去を更新するっていう観点でも、そうです。未来記憶で望ましいってというのはこれだと思ってたけれども、これ修正したいなと思ったときには、外部のこと見ていて、修正するっていうためには、この現在記憶っていうところが非常に記憶するってことですね。

塚田：この現在記憶が、前回の Lesson3 で成功人格と失敗人格、人格にもかなり関わってくるという話なんですけれども。

石川：関わってるんですよ。成功人格でこのワーキングメモリ、すなわち現在記憶をコントロールしてるか、失敗人格の人格で現在記憶、ワーキングメモリをコントロールしてるか、機能させてるかによって、成功失敗、分かれるってことです。それはどういうことかっていうと、パソコンで例えるとすれば、成功人格はワーキングメモリで現在記憶を起動させる、使うってなった場合については、過去の記憶を呼び戻すわけですから、利用しようっていうと、成功のためのフォルダを呼び戻してくるってことです。失敗人格は、残念ながら失敗のフォルダにあるデータだけを、リソースだけを、失敗のためのリソースったら変ですけども、それを使って呼び戻してくると。この大きな違いがあるってことです。

塚田：じゃあ失敗人格でいる限り、失敗しかできないっていうことになってくる。

石川：っていうことだと思います。ですから恐ろしい話なんじゃないでしょうか。

塚田：今うまくいってないっていう方も、まさに失敗の情報だけを、手に入れるのも結構、失敗の情報だけになったりするんですかね。

石川：はい。今の現在の記憶っていう観点では、自分は成功人格にいるのか、失敗人格にいるのか、はたまたまどうなのかっていうことの、この気づきの知覚っていうのは、自分を知ってるっていう、これはとっても重要なことじゃないでしょうか。

塚田：そうですね。じゃあもう失敗人格でいる限り、どんなにビジョンを立てても、過去を探ろうと思っても、だめだっていうことなんですよ。

石川：そうです。望ましいとき、希望するとか願望はあるんだけど、それは実現するはずがないとかって言って、アクセルを踏みながらブレーキを踏むとかっていうことが、平気で起こってるんじゃないでしょうか。

塚田：なるほど。じゃあほんとにこちら書いてある通り、成功人格でいることで、未来記憶と過去記憶からは、成功するためのデータだけを引き出せるようになってくる。そしてこのように繋がりが出てくるというかたちですね。全部にかけ合わせができてきて、これをうまく活用していくと。この図に戻ってきたんですけども、ほんとに全部関係し合ってるんですよ。

石川：そうなんです。全てが関係してるんですよ。

塚田：でもすごくよく分かりまして、これを実際に活用していくのが芯観メソッドで、それを実践していくのが芯観プログラムだというかたちになっていきます。

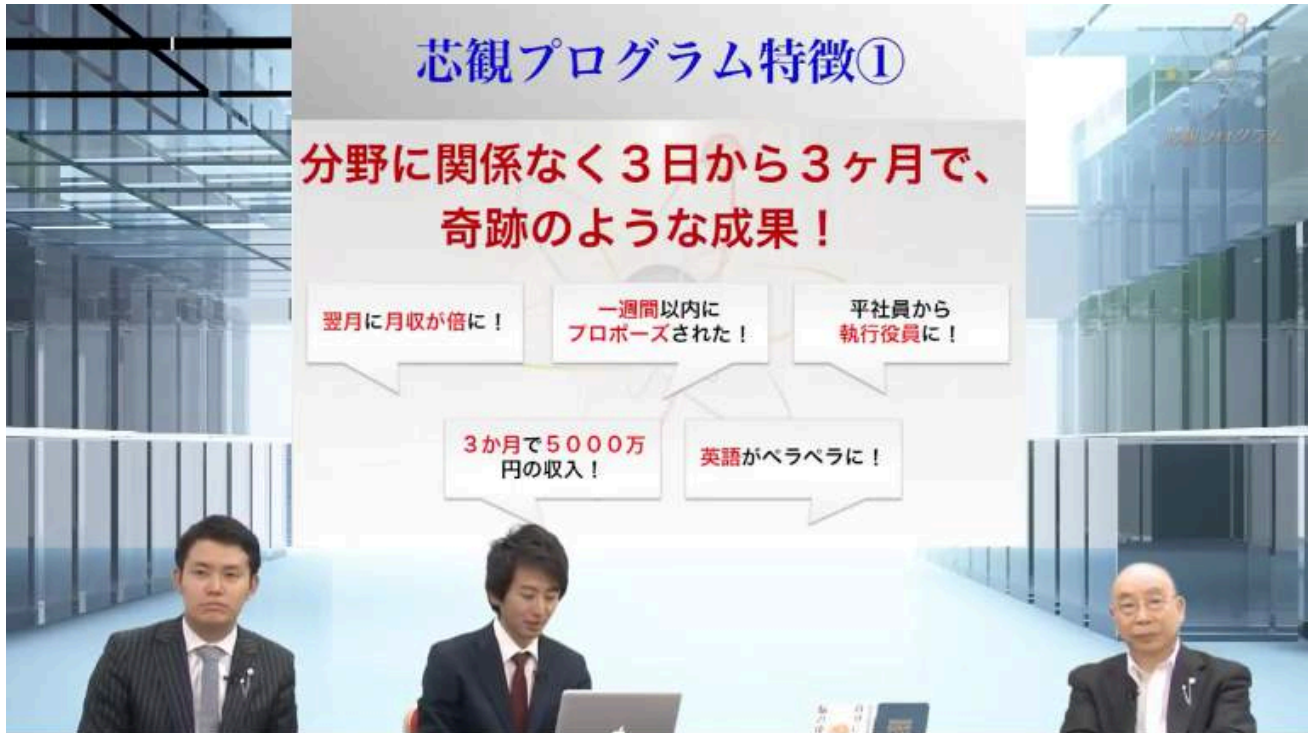
塚田：実際、これを活用してですね、こちらこの動画の下に動画がありますので、是非動画でメッセージ見て頂ければと思うんですけども。まず1人目、伊勢さん、有名なマーケッターの方ですね、この方は芯観メソッドを実践されて天才性を発見して売上が、もともとすごかったのが1.5倍~2倍になったり、また松尾可奈さんですね、独立したての頃に実際この芯観メソッドを学んで、3年間の目標が3ヶ月で達成されてしまったり、またこの土井健生さんですね、月収10万円でどん底の生活をされていたというのが、是非これ動画でご本人の声見て頂きたいんですけども、半年以内にすごい成功の磁場っていう引き寄せが起きる状態が作られて、テレビドラマから商品使用のオファーがきたり、海外からのオファーがきたり、劇的な成功が起きていると。こういったことがもう普通に起こってくるという形なんですね。

小沼：そうですね、はい。

塚田：これがさっきの3つの記憶の使い合わせによって起きてきているということですね。

小沼：そういうことですね、はい。

塚田：ありがとうございます。という形で脳の機能をですね、そういった上手く使うことによって40年間で10万人以上の人生を変えてこられて、企業だけじゃなくて今回一般の方にも是非使って頂きたいということで、今回結果が出る脳科学メソッドというのが体系化してプログラムとしてお届けしています。それがこちらですね。能力覚醒メソッド芯観プログラムという3ヶ月間のプログラムになっていますので、ここから是非詳しいところをお届けしていきたいと思っています。まずですね、どういったプログラムかというところ、これの特徴をお伝えさせていただきますと、特徴①分野に関係なく3日~3ヶ月で奇跡のような成功が出始めますよと。もうこれいいですね。ここまででも散々お伝えしてきたと思うんですけども、翌月に月収が倍になったり、1週間でプロポーズされたり、3ヶ月で5千万円の収入とか、すごい成果が起きてくると。これもまさに先ほど理由①とか③でお伝えさせて頂いたようなことが全部潰されていった結果…



石川：はい、そういうことです。

塚田：ということですね。実際ですね、芯観プログラム3ヶ月間学んだ方の中でも、ちょっとご紹介させて頂くと、牧野さんですね、こちらが人脈を次々に引き寄せ新規ビジネスを開発されたり、岩井さん、経営者の方なんですけれども、数週間で、もう皆さんの目の前で発表した通りのことが数週間で起きて、パートナーと出会って、もう会社の売上の方もきちんと上がったたり、あと中田みきさんですね、ビジョン通りにキャリアアップをされたり、向井さんも天才性をコンテンツ化してビジネスを開発されたり、また大手チェーンとの新規事業化をされた鶴木さんですとか、高橋さん、20年以上疎遠だった父親との関係が改善されたりとか、すごいですね。

小沼：そうですね。まさに分野に関係なく皆さん、ビジネスもプライベートも出して頂いて。

塚田：本当になんでこんなに色々なバリエーションが起きてくるか？っていうところなんですけれども、やっぱり脳のパワーを使っていくと…

石川：そうですね。

塚田：当たり前起きてくるという形ですね？

石川：はい。

小沼：皆さんそれぞれ自分に合った脳の使い方をされているんですね、まさにね。

塚田：じゃあ、今これだけじゃなくて、もう日々の生活からもうガラッと変わって…

小沼：はい。もう色んなそういう報告も受けています。はい。これ一部ですね。はい。

塚田：ありがとうございます。更に特徴②ですね。不要な知識はカットして結果が出るメソッドだけを習得。多分脳科学っていうとすごい膨大な情報があると思うんですけども、全部をお伝えするわけじゃないと。

石川：違いますね、はい。

塚田：使えるところだけを全部…

石川：はい、そういうことです。

塚田：まとめてお伝えしていくと。

小沼：はい、そうですね。

塚田：そういったものになっていくってことですね。それから特徴③、これかなり重要だと思うんですけども、日本人特有の脳の枠組み（クセ）を破壊し、創造するのに最適なプログラムになっていますという形で、やっぱり脳の特性ってお国柄とかもあったりするんですか？

石川：あとはやっぱりあれでしょうね、社会文化が違いますからね。やっぱりそこからきた学習プログラムっていうのがありますから。

塚田：先ほど教育のところやった、日本の教育はやっぱり加算型になっているという…

石川：はい。ということだと思います、はい。

塚田：という形ですね。そこは石川先生、日本人の成功者の3万人にインタビューをされて、10万人以上の日本人を変えられてきて、今日本で起こっていることで作られているからそういった効果があるという形ですね。

石川：そういうことですね。

塚田：はい。という形で是非日本に、日本に今お住まいじゃない日本人の方も、それはご安心頂いて。

小沼：青山さんはクロアチアですから。

塚田：そうですね。クロアチアから見て、どこにいても大丈夫です。はい。続いて特徴④絶望的な状態の人でさえ確実に変えてきた脳科学界のドラゴン桜があなたのメンターになります、という形で、石川先生の凄さの本当ポイントの一つはどんな状態でもいけるってところ…

石川：そうですね。

塚田：というのはレッスン 1 のところでも少しご紹介したんですけども、社内最下位のグループだった方を 3 ヶ月で社内のトップになったり、50 人の就活浪人生が何と全員半年ぐらいで志望の会社に就職をされたり、またクビ寸前の社員たち全員が 3 日の社員研修で上から 2 番目の評価になったり。

石川：そうですね、はい。

塚田：これも当たり前前に起きてくると。

石川：そうですね。今年もまたオファーがきていますけれども。

塚田：あ、そうなんですね！

石川：はい、そうです。

塚田：毎回もうそういうどん底の方…

石川：そうなんですよ。

塚田：すごいですね。そういうオファーなんですか？

小沼：そうです、そうです。その方々を石川先生、何とかして下さいという、そういうオファーですね。

塚田：何とかなっちゃう？

小沼：そうですね。

塚田：から毎年来るってということですね。

小沼：そうですね。

塚田：本当に普通の、一般的に考えたらけっこう諦められてしまうって言ったら失礼なんですけれども、無理かなっていう風にご自身でも思われる方もなぜここは変化していけるんでしょうか？

石川：やっぱりあれでしょうね、自分に合った脳の使い方ができるかどうかということがひとつの勝負と、今回も大きなテーマになっていると思いますけど、第三者が正しいとか、第三者がいいとかっていう風に言われていることをやっぱりやろうとして、そこに不適合が起こっているにも関わらずやろうとするからそこでストレスが溜まって、結局そこから逃げるためにサボタージュって言いましょうか、上手く機能させない働き方になる、失敗人格になっているってということじゃないですかね。

塚田：じゃあ、今絶望的な方は単に他人のプログラムにどっぷりになってしまっていたからっていう。

石川：はい、それが多いと思いますね。ですから本当に自分に合った、働き方も含めてですね、脳の使い方で働けばいいわけですから。そうすると割と楽々スイスイの方に変わっていけるわけですよ。

小沼：うーん、そうですね。

塚田：ありがとうございます。といった形で是非皆さんご安心頂ければと思います。そして今回ですね、石川先生から直接指導をして頂くグループコンサルティング、これも一部コースでご用意させて頂くんですけども。普段こういうコンサルティングってされていないんですよね？



小沼：そうですね。もう基本的に石川はエグゼクティブ層、経営者とかビジネスオーナーとかそういった方々に、且つご紹介のみ。というのは彼の、石川の場合もセッションのフィーが高額でして、1回当たり少なくとも50万以上はチャージさせて頂いている、1ヶ月じゃなくて1回ですね。ですので、なかなか手を出せない方もたくさんいらっしゃる…

塚田：さっき言ったエグゼクティブ層の…

小沼：そうですね。というので今はこういった機会はないんですね。

塚田：というのは、特別に今回頂いて。

小沼：そうですね。

塚田：機会を作らせて頂いているんですけども、これまで実際受けて頂いた方は、本当にこれまで考えもしなかったような問題に行きあたって、それを解消できたっていう方ですとか、また全く自分が全然意識、そんなものあるなんて全く知らなかったような天才性がわかったですとか、あとは自分を常に失敗させていた失敗人格がわかってもう劇的に人生が変わって、この後また動画でご紹介しているんですけども、このコンサル受けるために僕は生まれてきたみたいなの、すごいことをおっしゃっている方もいらっしゃるぐらいですよ？

石川：そうですね。本当にありがたいことだと思っています。

塚田：いや、本当にそれぐらいのものだったりしますので、是非そこら辺もこの後のご説明をお待ち頂ければと思います、はい。それからですね、特徴⑤として、今回ちょっとやること多そうだなってここまで聞いて思われている方も多んじゃないかなと思うんですけども、実はそんなことなくてですね、1日3分間の実践だけでいいような形でプログラムを組ませて頂いております。1日3分間音声を聞いてワークに取り組んで、本当に通勤通学中に気軽に取り組めるようなものが60個。

芯観プログラム特徴⑤

**1日3分間の実践で
着実に脳を進化させる！**

POINT 1
1日3分間、音声を聞き、
ワークに取り組むだけ！

POINT 2
通勤・通学や家事の時間でも
簡単に取り組める！

石川：そうですね。

塚田：お伝えさせて頂いているんですよね？こんな感じですね。テーマごとに分けて、本当に1日3分なんで。

小沼：3分ですね。

塚田：本当微々たるものですね。

小沼：そうですね。

塚田：1日の中で見たら。

小沼：前回もね、これで受けて頂いて成果を出された方たくさんいらっしゃったんで。

塚田：たくさんいらっしゃいました。

小沼：ええ。是非3分間。

塚田：はい。是非これそういう風に言っている方、動画でもご紹介させて頂ければと思うんですけども、3分で本当に脳が進化していくようなプログラムになっていますので、是非そのハードルの高さは感じないで頂ければと思います。はい。それからですね、特徴⑥として重要なワークについてはしっかり添削で指導して頂くと。あんまりこういう、もっとワーク自分でやったらやりっぱなしっていうのが多いプログラムが多いと思うんですけども、ここまでされるのには理由があったりするんでしょうか？

石川：そうですね、やはりきちっとしたフィードバックを受けて、フィードバックだけでは上手くいかないんですね。

塚田：はい。

石川：ですから、フィードバックがあれば振り返りをするっていう材料になるんですよ。

塚田：なるほど。はい。

石川：振り返りをする時っていうのは、自分が何が望ましい状態か、何を望んでいたのか？っていうことを抑えながらやるっていうのが振り返りですから、やはりこれでいいですよ、そのままお続け下さい、頑張っていますよね、それ何の役に立つのかっていうことだと思いますので、そういうようなフィードバックをなさる方がいますけれども、石川大雅と小沼誠也はそういうことではないということですよ。

塚田：適切にその方にとって振り返りしやすいような。

石川：そうですね。

塚田：身に付きやすいような形でフィードバックをさせて頂くと。

石川：まさにその方に合った内容でお答えさせてもらっているっていうことですよ。

塚田：ありがとうございます。こちら見て頂きたいんですけども、こちらですね。すごいですよね！この赤字びっしり全部添削？

石川：ってことですね。

小沼：ええ、これ一人一人にやっていくんでね。

塚田：そうですね。ワードの校閲機能を使いながら。

小沼：そうですね。あとコメントという付加価値ですね。

石川：ここまで取り組ませて頂くっていう原動力というかエネルギー源っていうのは、皆さん参加者がものすごく真剣に取り組んでいるっていうことがわかるから、伝わるからなんですよ。

小沼：うーん、そうですね。

塚田：なるほど。そこ想いを出して、想いをこちらも返していくと。

石川：そういうことなんですよ。そういうことです。

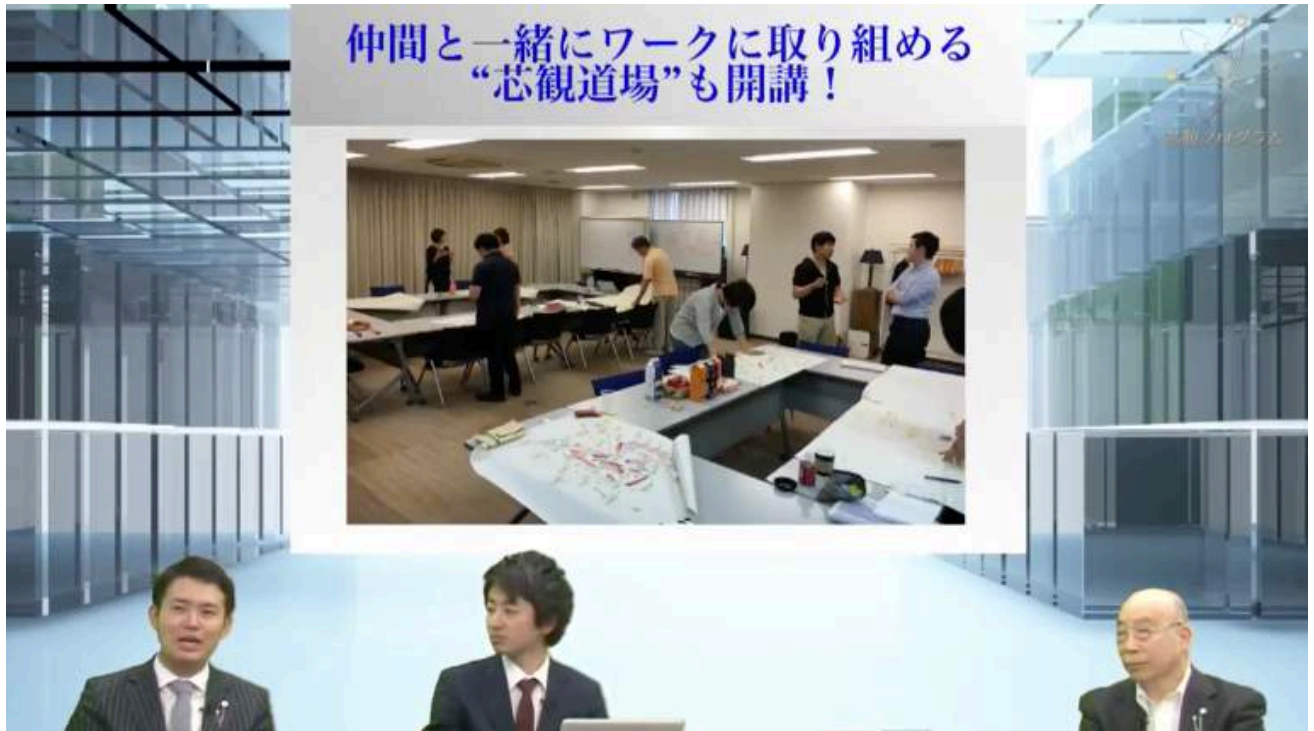
塚田：いや、本当にすごいですね。

石川：だからそれを掛け算化しようっていうことですよ。

塚田：あ、そこでも掛け算が生まれてくるんですね。

石川：はい、もちろんですよ。

塚田：いや、ここの、このレベルはハッキリ言ってあり得ないです。他のプログラムでは絶対ない特別な特徴だと思っています。更にですね、今回の専用の Facebook グループ、こちらご用意させて頂きまして、そこに芯観メソッドをマスターしたサポーターの皆さんも加わってですね、皆さんの日々の学びを、先ほどの添削も含めて直接サポートさせて頂きたいと思っております。更にですね、オンライン上だけではなく、なんとこういった形で芯観道場というものを開講しております…



小沼：そうですね。

塚田：もう道場っていうからにはですね、こんな感じで皆で集まってワークをしていくんですよね？

小沼：そうですね。ええ、やりますね。仲間ですよ、やっぱりね。オンラインで実際に受けて頂いている方やっぱりこういう場があると仲間として集まれて、大体皆さんが抱えている課題とか問題っていうのをこういう風に共有し合うことでやっぱり受講生さん同士の学びっていうのも深まるんで、是非ここはね、仲間っていうところはすごい大事かなって思っていますね。

塚田：やっぱりお互い同じワークをやっている身として話すことでも相乗効果って出てきたり？

小沼：ええ、そこで逆にコミュニティ化されて、コミュニケーション今も摂り続けている方もたくさんいらっしゃると思いますしね。

塚田：本当仲が良いですよ、皆さん。

小沼：うん、そうですね、はい。

塚田：という形でこういった道場もご用意させて頂いておまして、この後 2 つコースをご紹介してですね、リアルメインのコースと、オンラインメインのコースあるんですけども。オンラインの方もこちらの参加をして頂いて、ガッツリ一緒に取り組ませて頂けるというのをご用意させて頂

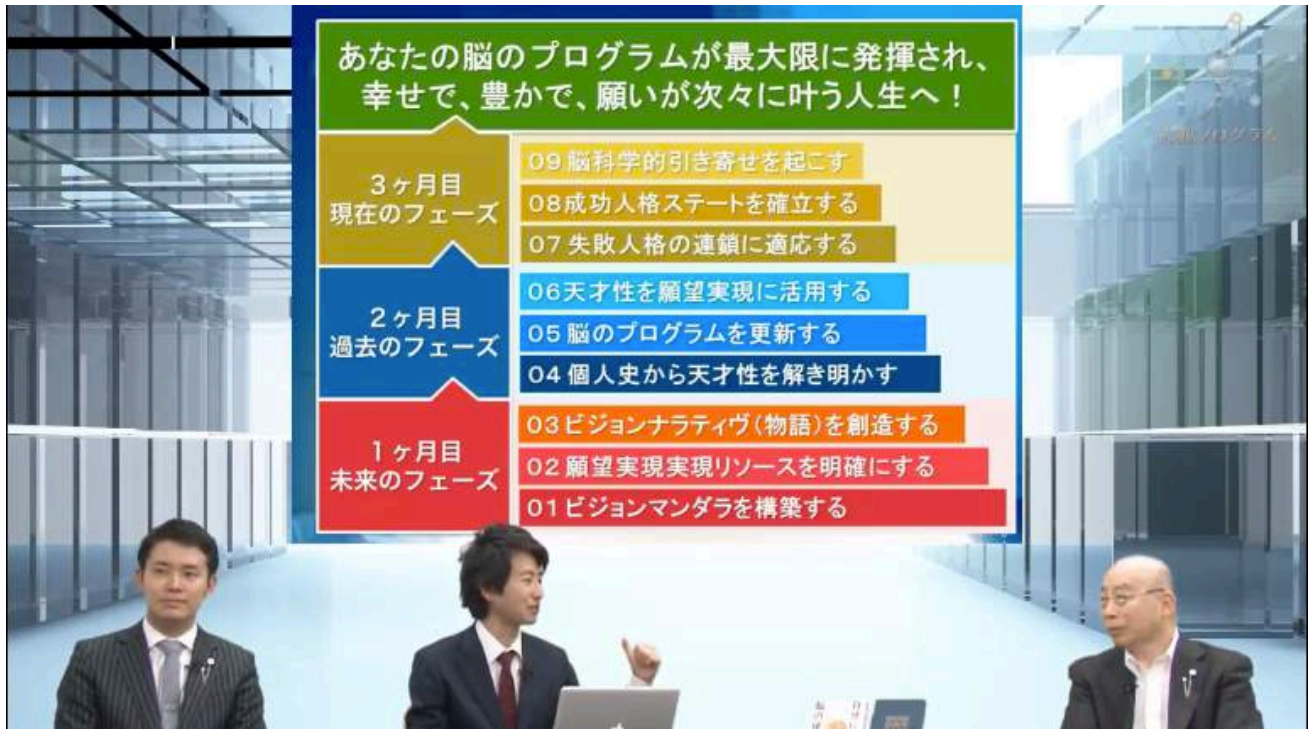
いております。こういった特徴のあるプログラムで学んで、実際あなたの脳が持つあらゆる力を目覚めさせる、そういったカリキュラムに、プログラムの内容になっております。

それではですね、ここから更に深くカリキュラムの方、実際 3 ヶ月間どういうことを学んでいくか？というところをお伝えしていきたいと思っております。まずプログラムの流れですね。こちら後日またページの方、詳しくご案内しますので、そちらでしっかり見て頂ければと思うんですけども、全体的にはですね、まず月に 1 回芯観セミナーというセミナーがございます。こちらがプログラムメインの内容が講義で石川先生、小沼さんにお話を頂いて、実はコアとなるワークはこのセミナー中に皆で取り組むという形にしていきます。なので、1人でコツコツ取り組むというよりは、ここでガッツリ大きなものに取り組んでいきます。それからですね、各月前半と後半でレクチャー動画ですね、こちらで更に補足的にこういうこともやった方がいいというレクチャー動画をお届けさせて頂いて、それと内容と合ったワークの音声ですね、先ほどお伝えしました 3 分間の音声、これを基本的に毎日取り組んでいくという形になります。更にメールマガジンですとか、質問もメールでいつでもして頂けるような状態になっております。ご質問頂いたらすぐにお答えさせて頂きますし、また添削ですね、先ほども教えて頂いた通り、添削の方もさせて頂きますので、是非そちらはご活用頂ければと思います。

SEPTEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	月1回の芯観セミナー (セミナー日程はこの後ご案内)			
芯観セミナーで取り組んだワークを完成						
前半のレクチャー動画を配信 & 1日3分間の音声ワークを実践						
毎日の取り組みは3分間の音声ワークのみ!						
前半のレクチャー動画を配信 & 1日3分間の音声ワークを実践						

大体のスケジュールはこんな感じですね。カレンダーにまとめているんですけども。まず第1週目に芯観セミナー、それから取り組んだワークをやりまして、それから2週ごとにレクチャーと3分間の音声ワークが順次配信されていくっていう形になっております。こちらまたページで詳しくご覧頂ければと思います。はい。実際この3ヶ月間で、この3つの記憶に乗っ取ってカリキュラムの方が進んでいく形になります。その3ヶ月間がこちらになります。このビジョンマंडラとかビジョンナラティブとか聞いたことのない言葉がたくさん出ていますけれども、こういったことを実践していく流れでしょうか？



石川：そうです。

塚田：はい。ありがとうございます。では一つ一つ詳しく見させて頂きたいと思います。まず1ヶ月目未来のフェーズではですね、こちら上に書いてある3つのステップを踏む形になるんですけども。1ヶ月目を実践する意図としては意識×無意識でビジョンを明確にし、望む未来が連鎖的に実現する状態を構築するっていう形で、先ほど教えて頂いた未来の記憶、ビジョンの作り方、あれを実際実践していくと？

1ヶ月目 未来のフェーズ

03 ビジョンナラティブ(物語)を創造する
02 願望実現リソースを明確にする
01 ビジョンマンダラを構築する

1ヶ月目を実践する意図と前提

意識×無意識でビジョンを明確にし、
望む未来が連鎖的に実現する
状態を構築する！

得られる効果

- あいまいな夢や願望が明確なビジョンに変わる！
- 1つ達成すると立て続けに他にも達成されていく連鎖反応式のビジョンマンダラが構築できる
- 今の自分にエネルギーを与えてくれる未来記憶が構築できる。

石川：そういうことです。

塚田：形になるということですね。はい。細かく見ていきたいと思います。まず変性意識状態でビジョンを書き出す、これが先ほどの未来の記憶のところですね。

石川：はい、そうですね。

塚田：これは具体的なやり方、もう既にスライドで出ているんですけども、具体的なやり方があるってということ…

石川：はい、そうです。これは視覚、聴覚、身体感覚これを同時に使うということで、変性意識状態を作り出すことができるんですね。

塚田：なるほど、なるほど。じゃあ、それを実際にやって、あと創造脳を構築する特殊音源、こういったものもあるんですね。

石川：そうですね。そういうことで総合的にthetaシンベーションっていう成功するためのノウハウを作りながらビジョンを書き出すってこういうことですね。

塚田：なるほどです。実際こちら今まで体験された方、私も衝撃だったんですけども、2時間ずっと書き続けて、休憩なし…

石川：そうですね。

塚田：多い方だと 200 個ぐらいビジョンを書き出すんですよね？

石川：そうです。はい。

塚田：これは割と普通のレベル？

石川：まあ、普通のレベルですよ。

塚田：なるほど。

石川：ですから、ものすごく、何でしょうか、かなりの高品質な集中が続きますよね、はい。

塚田：これだと普段なかなかビジョンを描けないっていう方でも大丈夫？

小沼：大丈夫ですね、はい。皆さん描けていますので大丈夫ですね。

塚田：はい、そうですね。実際はその現場で見ているので、そこはご安心頂ければと思います。皆さん紙皿いっぱい、付箋のもうビジョンを描いてっていう感じですよ、はい。という形でビジョンをまず書き出しまして、これで終わりではなくてですね、ビジョンマンダラと。

石川：そうですね。

塚田：というこういった物を作っていくという形なんですね。これどういったものになるんでしょうか？

石川：これはどういう脳の使い方っていうのは、見ての通りに図になっていますよね？

塚田：はい、図になっています。

石川：図になり線が引いてありますので、ある種のどのような形の順序でビジョンを構築するか？っていうところももうイメージできてしまっているっていうことなんですね。ですからいわゆる言葉で望ましい状態が書いてあると共に、この線が意味があるということですね。

塚田：ああ、そうなんですね。

石川：ええ、こういうのを専門的にはこう図的思考っていうことなんですけど、もうマンダラを作ること

によって図的思考をフル回転させているってということだと思います。

塚田：なるほど。これただ書いてある線に繋がっているのってどういう違いが生まれてくるんでしょうか？

石川：どういうことかって言ったらですね、ある種の望ましい状態を写真を貼るとか、色んな言葉だけをこの羅列するっていう、そういう手法も世の中には存在しておりますけれども、それはそれなりに効果的ではありますけれども、要するにこういうのは線で結んだりなんかすることによって、先ほども言いましたように図的思考になっている、図的思考っていうのは何か？って言うと、書いた線に意味を持たせているんですね、自分自身が。ですから、この線で意味を持たすっていうことはどういうことかと言ったら、ちょっと専門用語な、聞き慣れないからかもしれませんが、要するに図形言語って言うんですね。図形言語っていうことなんですけど、これはダイアグラムっていうことですが、この線に意味がですね、思わず知らず線を結ぶことによってどういうことなのか？っていう、何をやればいいのか？っていうことが自分の中で明らかになってくるってこの特性があります。

塚田：なるほど。

石川：ですから、これができているが故に物語がサクサク書けるっていう、こういうことにもなりますね。

塚田：はい、なるほどです。このビジョン、実際の図で線にしてこうやってまとめて、どういった効果が出てくる、ただ書くのではなくてこういった図にすることにどういった効果が出てくるんでしょうか？

石川：先ほども言いましたように、どの順序からやればいいかなっていうことが自ずとわかってしまうっていうことがありますね。

塚田：なるほど、なるほど。

石川：そうすると、これ見て頂ければ非常にわかりやすいと思いますけれども、関連図式になっていますから、マンダラ図っていう関連図式ですから、要するにこのビジョンとこのビジョンは繋がっているんだということが自覚できるわけです。

塚田：ビジョン同士に繋がりが出てくる…

石川：はい、そうです。ですから、今回の大きな話のテーマでありましたけど、シンクロシティとかですね、強磁性、すなわち引き寄せっていうことがあります。招待状が来るという時に、この招

待状が来たなと思ったら何を為すべきかっていうことが、どうするかっていうことに関しては、全部設計図になっておりますので、非常に自分が動きやすいってこともまず言えることだと思います。

塚田：なるほど。これは小沼さんのフォロー動画で並列思考で連鎖的に、みたいな話もあったと思うんですけども。

小沼：そうですね。私から是非伝えたいのは、まさに今塚田さんがおっしゃったようにこれ連鎖的に実現するというのがビジョンマンダラの特徴です。或いは石川からも話がありましたが、このビジョンを抑えればこのビジョンも実現するという、実はこの連鎖が起きるのがビジョンマンダラの特徴なんですね。だから芯観メソッドを受けて頂いた方は、さっきの招待状の話もそうですが、一つのことを実現するとどんどんどんどん実現していくというのは、このビジョンマンダラで自分のビジョンが全部図で見えているので、あ、このビジョンを実現するとこっちも実現するってまさにこのビジョンの連鎖実現が起きるってというのが特徴ですね。

塚田：なるほど。自分で、これが来たらこれもいくってわかっているからガーッと一気に…

小沼：そうです、そうです。だから一つずつ順々になって話じゃなくて、一つを実現するとプワッと全体的なビジョンが実現するというのがまさにこの図の特徴ですよ。

塚田：なるほど。やっぱり一気にパーッといくような方もいらっしゃるんですか？

小沼：ええ、います。だから3年かかることが、松尾可奈さんさっきありましたけれども3ヶ月で実現できたとかね。

塚田：おお、なるほど。

小沼：まさにビジョンマンダラのカです。

塚田：じゃあ、この書いた内容が本当に数ヶ月で実現するみたいな方もいらっしゃるのかなってわかるわけですね。

小沼：はい、そうですね。

塚田：ただ書いているだけとは違うんですね。こういう風にするによって。

石川：言語情報で文章でもってですね、の情報とはやはり図にするっていうパワーってというのはすごいと思います。

塚田：ありがとうございます。これを作れるのは本当このプログラムだけですね。もう聞いたことないですもんね。

小沼：そうですね。

石川：それで重要なことが二つありましてね、このビジョンマンダラに対してこれはどういう、ビジョンマンダラっていうのは一般的な名称として石川大雅や小沼誠也さんは提示していますけれども、これは名前を付けるっていうのがコツなんです。

塚田：名前を付けるっていうことですね？

石川：ええ、ですからこれが重要なメインとなる、望ましい未来の、望ましい状態としてのビジョンの名前を介して名前を付ける、名前を付けることによって自分のビジョンが存在するんですね。これが一つです。それからもう一つがこれは概念定義っていう言い方しますけれども、この名前を付けたビジョンがどういうビジョンマンダラの名前が付けたら、それはどういうことなのか？っていうことに関して、こういうこと、こういうこと、こういうことすっていう風に概念定義をすると、この二つがものすごくこのビジョンマンダラを、ビジョン実現の為に機能させる、脳が活動し始めますっていうことですね。

塚田：なるほど。じゃあ、そこまでできて非常に効果が高いということですね。

石川：成功者はほとんどそうやっていますっていうことですね。

塚田：ありがとうございます。更になんとここだけでは終わらず、ビジョンナラティブっていうものを作っていくと。

石川：はい。

塚田：ナラティブっていうのはどういったことなんでしょうか？

小沼：ナラティブというのは、ストーリー、物語っていうと、ストーリーっていうのを聞いたことがあると思うんですけども、ナラティブっていうのは自己陳述…

塚田：陳述…

小沼：自己陳述、裁判の時に陳述しますっていうのがよくあると思うんですけど、それがナラティブという意味で、一般的なそのストーリーっていうのは、何て言うんでしょうね、他人の物語では

なく、例えばストーリーって小説と違ってまさに主人公がいて…

塚田：そうですね。自分はもう客観的に…

小沼：そうです。じゃなくて自分がビジョンを実現させていく過程を、自分事 of 物語で書いたものがナラティブなんですよ。

塚田：なるほど。

小沼：それをつまみ、例えばセミナーに参加した時に、ビジョン、我々が望ましい状態を3年後に設定しているんですけども、もう1ヶ月目を終えた段階で、3年後自分がどういう風にビジョンを達成していくのかということ自分事 with 物語を書いてもらうんですよ。そうすることで物語っていうのは、ものすごい強烈ですから記憶にもものすごいプログラミングされやすいんですね。というものを実際に作ってもらうっていうのがこのビジョンナラティブ。且つ添削をするというね。

塚田：すごいですね！これがその添削なんですね。この真っ赤な。

小沼：はい。例えばこれ多分実際あったと思うんですけども、このプロセスはもうちょっとこの辺り具体化するといいいですよとか、逆に今書いていることをもうちょっと具体的に書くとよりあなたの実感度合いが高まるんで、より自分事になりますよっていうことを一人一人こう個別に書いていくんですね。

塚田：なるほど、なるほど。

小沼：ですから、また更にブラッシュアップすることもできるというのが、このビジョンナラティブです。

塚田：そういうことですね。なんかマンダラからナラティブまで全部作ったら凄そうですね。

石川：そうなんです。本当に自分のものになりますからね、はい。

塚田：ありがとうございます。これがセミナーと音声を実際にということで出来上がっていくという形ですね。ありがとうございます。ビジョンを物語にすることでより強固に未来記憶にプログラミングするということができるようになっていくという形ですね。その1ヶ月目の効果として、もう今現時点で曖昧な夢とか願望とか持たれているような状態の人でも明確なビジョンに変わった、あと連鎖反応式のビジョンができるっていうのが大きいですね。

1ヶ月目<未来のフェーズ>で 得られる効果

- ✓あいまいな夢や願望が**明確なビジョン**に変わる！
- ✓1つ達成すると立て続けに他にも達成される**連鎖反応式のビジョンマンドラ**が構築できる
- ✓今の自分に**エネルギーを与えてくれる未来記憶**が構築できる。

石川：ここが非常に重要なポイントだと思います。

塚田：そうですね。ここ以外では得られない…

石川：だから逐次的に順序を立てて実現していくっていうよりは、並列的に、全体が見えていますから、並列的に難なく楽々スイスイに取り組みやすいと、こういうことだと思います。

塚田：だから3年が3ヶ月とかあり得ないことも普通に起きると。

石川：はい、そういうことなんです。

塚田：ありがとうございます。また今の自分にはエネルギーが与えられると。

石川：そうですね。

塚田：という形ですね。今の自分が行動できるようなものも未来記憶がパワーをくれると。

石川：そういうことですね。

塚田：という形ですね、はい。ありがとうございます。続いては過去のフェーズですね。7つ目は個人史から天才性を導き出して、合脳的なビジョンを実現していくために脳を更新していくっていう

フェーズになっていて、上の3つのステップですね、こちらになっていくというフェーズになります。これも細かく見ていきますと、まず次のレベルに進化するために過去のデータベースを使いこなすというところで今回実践講座、無料のプログラムでもお伝えさせて頂いた個人史から天才性を見つける個人史プロファイル、それから脳科学ラーニングですね、学び方のところがメインになってくると。実際個人史、今回でも体験版でやったんですけども、この3ヶ月のプログラムではどういったことをやっていくんでしょうか？

石川：個人史、体験版では個人史から要するにどんな天才性が自分の中にあるのかなっていうのを紐解くってというのが中心になっていたんですね。今回のこの芯観のこの講座ではどういうことかって言ったら望ましい状態の未来っていう未来記憶を作るっていう話でビジョンそのものを明らかにして、それもとにかくマンダラを作って関連図式も作るし、尚且つナラティブというものを作るってこういう総合関係性で見っていきますよね。ですからここはまさに個人史から紐解いた天才性っていうのは、このビジョンを実現するためにどういう自分の天才性が使えるものだろうか？ってということですね。これを見つけ出そうっていうのが一つの大きな狙いでもあります。

塚田：なるほど。目的を、その望む未来を実現するっていうところで天才性を紐解いていくっていう感じで。

石川：そうですね。尚且つ個人史から天才性を見つけたならば、これは現実にあった事例ですけども、子供の時から作文を書くのが得意だなんてところから見て、その方やっぱり文章を書くのが上手いんですね。どなたもわかるような、要するに読み解けてわかりやすい文章も書けるっていうこ

とで、要するにあなたは文章を書くってこと天才性を持っていますよね、これを生かすってことビジョンは何か考えられます？っていう風に一言言ったら、それが要するに出版をするとかですね、そういうようなビジョンがパーッとその方から出て、逆にビジョンがもともとなかったところに付け足すっていう形で関連図式が、ビジョンマンダラからナラティブから全部作り直すっていう。

塚田：なるほど。

石川：要するに、或いは追加しても平気ですから。

塚田：はい、ああ、そういうことですね。

石川：ええ、それで今活躍ものすごくしているっていう事例もありますよね。

塚田：なるほど。

石川：ですから、そういう意味でも、ということですよ。

塚田：未来から過去、過去から未来と。

小沼：そうですね。

塚田：どっちも総合的にできるようになるということで、こちら更に個人史プロフィールに加えて、脳科学ラーニング、これで自分に合った学び方も…

小沼：そうですね。

塚田：合わせてもらうように…

小沼：ええ、まさに合脳的な学び方ですよ。学び方を学ぶと過去の記憶をどう効果的に更新していいか？つまり参照データベースですよ。あれを効果的に更新する方法もここで体得してもらうという形になっています。

塚田：なるほどです。これをなんと3分間音声をじっくり聞くだけで学べるんですよ？

小沼：そうですね。3分間の音声に全部収録していますので。

塚田：はい。これで合脳的な学び方も是非体得して頂ければと思います。

小沼：はい。

塚田：更にですね、今回もあります、添削が。この2ヶ月目ですね、1ヶ月目に作ったビジョンナラティブ、これに天才性を掛け算していくという形ですね？

石川：はい、そうです。

小沼：まさにそういうことですね。

塚田：これ掛け算していく上でどういうことが生まれてくるんでしょうか？

小沼：さっきも繰り返し言っていますけれども、ビジョン、望ましい状態にどう天才性を使うかということですから、楽々スイスイしませんね？自分探しとちょっと違うのは、自分探しを別に全て否定するわけではないんですけれども、このビジョンを実現するために天才性を活用することですから、最小のエネルギーで最大の効果が得られると。且つしかもナラティブになっていますので、未来記憶も更によりプログラミングされる。

塚田：はい。しかも自分の中から出してきたものだから、より当たり前に絶対できる、みたいな。

小沼：そうです。且つこの天才性を使っているとよりビジョンもブラッシュアップされてくるんですね。

塚田：あ、そうなんですね。

小沼：この天才性があるんだったら、例えばさっき話ありましたけれども出版の話とかね、新しくビジョンがどんどん、どんどんブラッシュアップされていくっていう方もいらっしゃるんで、そういう相乗効果がありますね。

塚田：もう書いてある通りリソース化することでビジョンへの臨場感が劇的に高まると、というのも出てくると。そして添削もして頂けると。

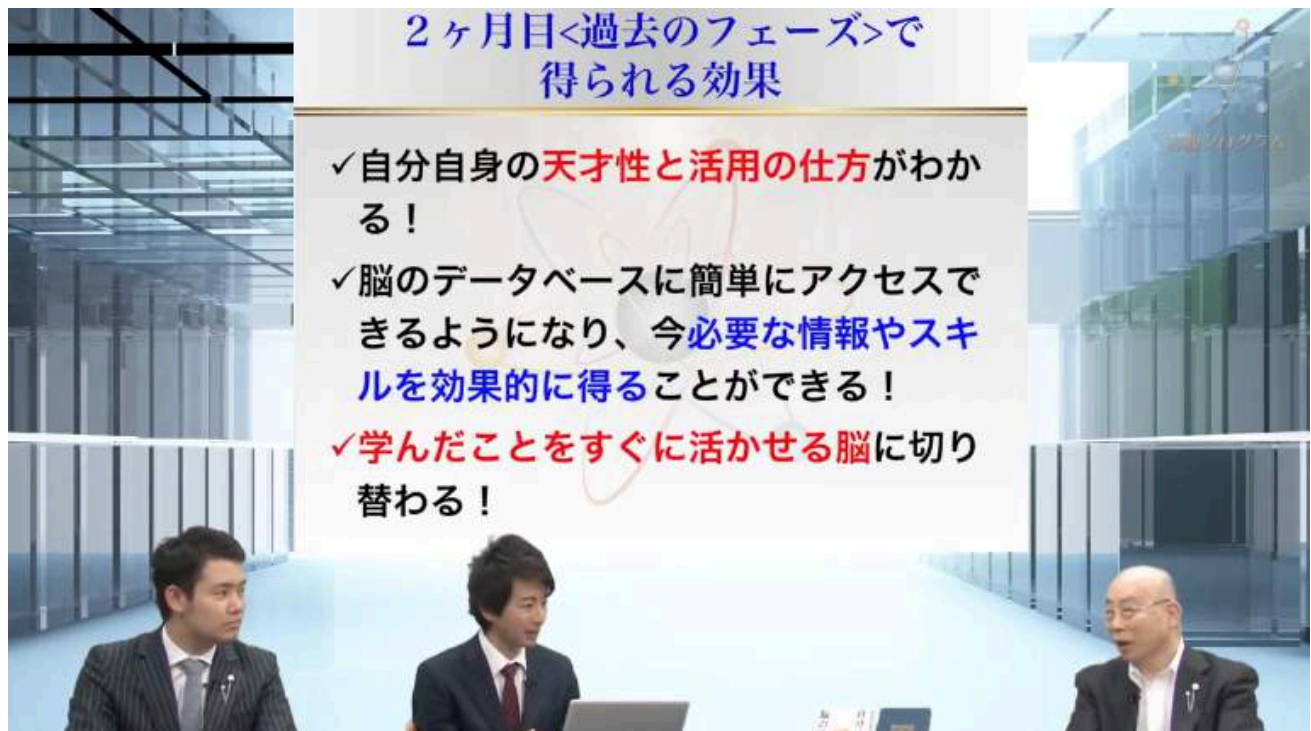
小沼：そうですね、はい。

塚田：という形ですね。はい、ありがとうございます。これによって自分の天才性とこの活用の仕方を2ヶ月目でもうわかってくると。今何もないと思っている方でも大丈夫ってことですね？

石川：そういうことですね。はい、そうだと思います。

塚田：ありがとうございます。これによって今の活動の効率とかも上がってくるんでしょうか？

小沼：上がります。今のビジョン以外の、例えば普段の仕事とか日常生活とか、もう常に自分の天才性がわかるので、それを普段の仕事からも生かしていけると。



塚田：なるほど。何か招待状も来そうですね、そうなるかと。

小沼：そうですね。どんどんそうですね。

石川：女性の事例ですけれども、自分が見つけた天才性っていうのはどういうことかって言ったら、人との関わり合いが上手くてですね、要するに自分のことに対して、第三者の人たちの得意技を持っている人たちを、自分の仲間に入れて協力させてしまうっていう、もう見事な天才性を持っている方がいましてね。

塚田：強力ですね、すごい。

石川：その方は文章書くのが得意とかなんかってことじゃなかったんですけれども、要するに本を出すために出版社とのコネクションを作ってですね、全部準備をするっていうことを書き出すっていうことをやっていて、ビジョンの中に組み込んでいて、現実に出版までこぎつけられてしまったっていう…

塚田：すごいですね！

石川：だから現実には起こっているんですよ、そういうことが。だからこれはもう出版だけの話だけじゃなくて、あらゆることがそうなんですよね。ですから、小沼さんが今言ったように単なる個人史から天才性を見つければいいということではなくて、ビジョン実現するっていう観点で個人史を見ていって、尚且つ天才性を紐解くっていう、このやり方ですから、かなり合目的ですよ。目的が明確だということだと思います。

塚田：ありがとうございます。すごくワクワクしますね。どう見つかるか。ありがとうございます。あとは脳のデータベースを簡単にアクセスして更新できるようになって、今必要な情報とかスキルを効果的に得ることができる、無駄な学びとかをしなくなってくるということですね。

小沼：そうですね。まさにそうです。

塚田：よく無駄なセミナーに行かなくなったのかも聞きますもんね。

小沼：そうですね。はい。

塚田：ありがとうございます。あと学んだことをすぐに生かせる脳に切り替わっていきますよという形ですね。そして、3ヶ月目、現在のフェーズ、こちら最後ですね。ここまで学んで、先ほどの説明にもあった使える人格になっていないと、という感じですね。というテーマで成功人格、失敗人格を完全に対応することで理由③でもお伝えさせて頂いた引き寄せが起きる状態、これを常に作っていくと。成功の磁場を作り脳科学的な引き寄せを起こすっていう状態になっていくっていうことですね。それも改めて詳しく見ていきたいと思うんですけども、こちら失敗人格ユースマップ、こういったものを作っていくと。

**3ヶ月目
現在のフェーズ**

- 09 脳科学的引き寄せを起こす
- 08 成功人格のステートを確立する
- 07 失敗人格の連鎖に適応する

3ヶ月目を実践する意図と前提

成功人格・失敗人格に完全対応することで、
“成功の磁場”を作り、
脳科学的な引き寄せを起こす！

得られる効果

- 常に最高のパフォーマンスで毎日を送れる！
- 感情に左右されることがなくなり、成功者のマインドが自然と身につく！
- “成功の磁場”が生まれ、脳科学的な引き寄せが起き始める！

石川：そうですね。

塚田：これもやっぱり図的思考で作ることによってわかりやすく…

石川：尚且つ、どの失敗人格が発動されるから次のところに行くかっていう流れがわかりますね。道筋がもう自分の中でわかってしまうってことですから、概念的にどうしても囚われるから、要するにこれが起きたら次いきそうだなという風に、ですからそれを防止することができるっていう。

塚田：なるほど。

石川：ここが大きな点じゃないでしょうかね。

塚田：もう深みに入る前に即脱出みたいな。

石川：そういうことです。ですから、ひどくなった感情でもネガティブな状態っていうのは、なかなか脱出するの大変になってきますけど、要するに軽いうちに脱出するっていうことには、それこそジャンプ、ジャンプ、横で十分対応できるわけですから。

塚田：すごい！これができれば、ジャンプ、ジャンプ、横があればもう魔法のように抜け出していけると。

石川：はい。ですから、無自覚でもって連鎖を強化してしまうっていう、負の連鎖の中に落ち込むって
いうことを防止するっていうために、この連鎖マップっていうのはものすごく効果的なんですね。

塚田：これ財産になりそうですね。

石川：そうですね。

塚田：1回作ったら。

小沼：もうこれ1回作ったらあとはもう更新していく術も教えるので。

石川：失敗人格の連鎖マップっていうことに関しては、要するに風邪になった時の手当てと同じですね。
早め早めの手当てが一番いいんです。

塚田：予防が…

石川：予防が、そうなんです、はい。

塚田：実際もう作っている図もありますね。

小沼：そうですね。

塚田：こんな感じでみんなで作って行って、なんとこの PDF のように小沼さんからフィードバックも頂
けると。

小沼：我々から、はい、個別に致しますということですね、はい。

塚田：ありがとうございます。更に成功人格のステート、こちらも体験版で皆さんにはやって頂いたと
思うんですけども、こちらも確立していくという形ですね。成功人格プロフィールというもの
も作りまして、これも戻れる軸をしっかりちゃんと作っていくということ…

石川：持つっていうことです、はい。

塚田：という形ですね。はい、ありがとうございます。そしてそれによって成功の磁場ができて引き寄
せが起きてくるという形になってくるという形ですね。

石川：はい。ですから、これは南極とか北極とかS極とN極っていう形の磁場っていうことではなくて、

ある種の比喻っていう風に捉えて頂ければけっこうだと思うんですね。それは何かって言ったら、成功の磁場っていうことですから、要するに成功人格っていうのは非常にエネルギーが高くなりますよね。今日話した中にも自分の志とかですね、そういうことに関しても自分の本気度、志を話すっていうことに関しても、非常にエネルギーが高い状態で話すことができるっていう。尚且つ、人間、エネルギーを持っていますから、成功人格のエネルギーにいる時っていうのは成功する人たちが集まりやすい。

塚田：なるほど。

石川：場ができるんですね。

塚田：本当磁場ですね。

石川：そうなんです。ですから、この磁場がある種の成功人格の磁場がその引き寄せを、非常に招待状を引き寄せるっていう風に言えることができると思います。現実には本当にそうなんです。

塚田：なるほどです。

石川：ですから、これが同じ場所にいる磁場っていうことだけではなくして、SNS だとしても成功者同士っていうのは繋がりやすいっていうことが事例としてたくさん起こっていますので。

塚田：今いるステージから上のステージにランクアップすることができるという形ですね。

石川：はい。とても重要なのは成功の磁場と共に失敗人格の場合は失敗の磁場を作るっていうことです。

塚田：失敗の磁場っていうのもあるんですか？

石川：あります。ですから、失敗者の人たちだけが集まるっていう、自分の周りに集まるっていう、だからいつもグチグチを言っているような人たちっていう形で集まるってこういうことなんですよ。

塚田：それから脱出する…

石川：そうです。

塚田：それも知っておくっていう…

石川：はい。ですから、よく喫茶店で若い女性が何を話しているんだろうかっていったら、私彼氏いな

い歴 3 年とかって言って愚痴の発表大会でコーヒーを飲んでいるっていう、それもまさに失敗の磁場ですよ。

塚田：何か失敗しか引き寄せられなさそうな感じですね。

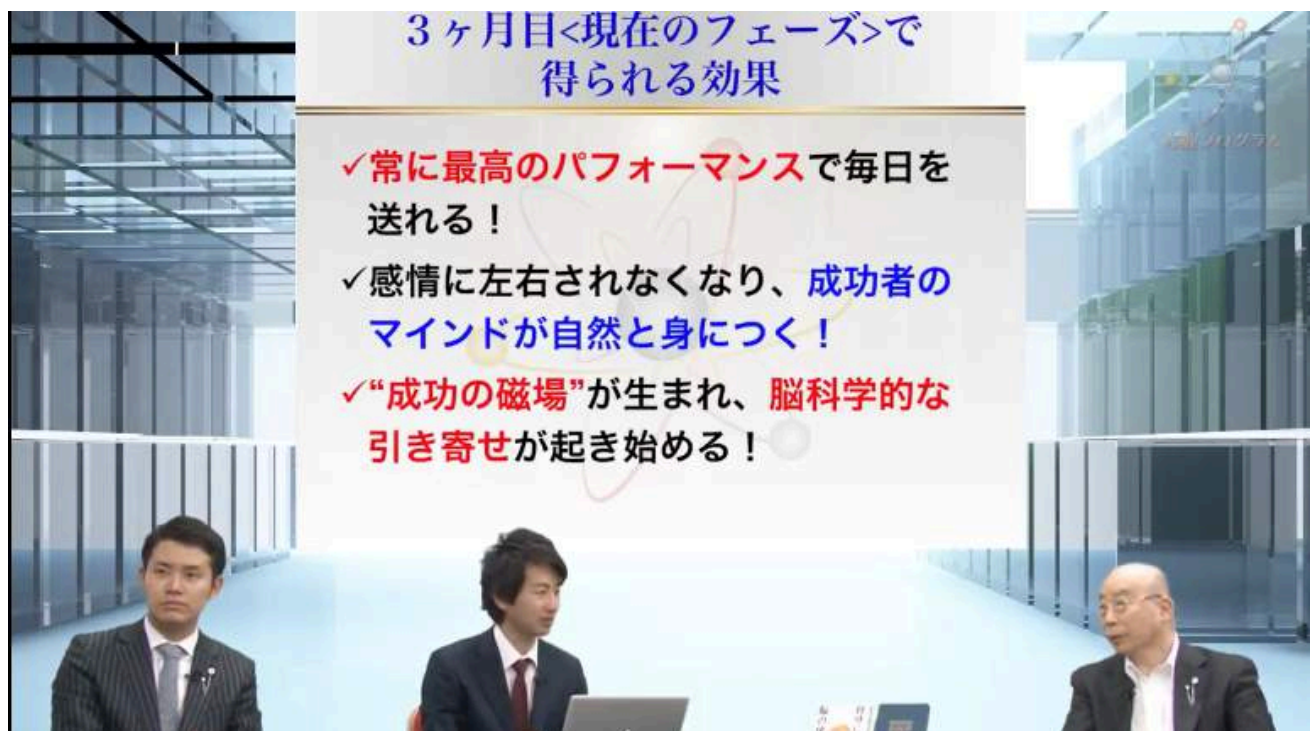
石川：そうですね。尚且つ、失敗をすることで失敗の自慢大会をやり始めているっていうことで、本来そうじゃないんだと思うんですよ。だから、自分もキチッとした彼氏と出会いたいっていうのが希望、願望であったはずなのについていうことですよ。

塚田：連鎖に入っちゃっているんですよ。

石川：連鎖に入っているんです、はい。

塚田：ありがとうございます。本当に失敗に対処して、成功の磁場を作っていけばいいという形ですね。

石川：そうだと思います、はい。



塚田：これによって常に最高のパフォーマンスを得られて、もう成功するための情報だけを未来記憶から出していくことができると。

石川：はい。

塚田：あとは成功の磁場が生まれて脳科学的な引き寄せが、招待状がどんどん…

石川：招待状が来るってということですね、はい。

塚田：ありがとうございます。さっきの土井さんとか松尾さんとか、他の方みたいになってくるとい
う感じですね。

石川：そうです。だからもうこの成功なさっていく事例っていうのは似たものがないわけですよ。た
くさんいますからね、こういう…

塚田：本当そう思いますよね。あり得ないぐらいたくさんあると思います。これによって、最後にはプ
ログラムの最後には、こういった皆伝式という、本当に最後のまとめのところをお伝えさせて頂
いて、みんなでパーティもすると。

プログラムの最後には……

2017年10月7日(土)10:00~19:00に
開催される卒業記念セミナー
“皆伝式”にご招待します！

※皆伝式はリアルコース、オンラインコース
どちらに参加されている方でもご参加いただけます。

小沼：そうですね。

塚田：これはパーティとかをする理由とかも何かあったりするんでしょうか？

石川：そうですね。これはこのプログラムの特徴だと思いますけれども、オンラインで参加した方も来
れるっていうのがね、塚田さんのプロデュース能力だと思いますけど、そこは素晴らしい点です

よね。

塚田：はい。

石川：ですから、今日名前が出たと思いますけど、向井ゆかさんっていうのは、この皆伝式の時に高松から参加して、オンライン上で参加した方なんですよ。ですから、石川大雅とこの皆伝式の時に話をすることによって、色々な天才性を発見、その場でもう発見することができるっていうことですよ。

塚田：なるほど。特別な場所になっているという形ですよ。

石川：はい。皆伝式の時に、自分は高松ですから高松の方に来るのはいつだ、なんて質問があるものですから、もう高松に何月何日に行くよって言ったならば、その時に行ってもいいかっていうから、その講演会でしたけれども、その主催者との調整をするっていうことを小沼さんにも依頼することがこの日にできて、実際に高松の時にご夫婦で参加していましたから。

塚田：すごいですね！

石川：ええ、だからそれがご縁で色々なプログラムを今開発、共同開発させて頂いている状態ですよ。

小沼：そうですね。また、心理的完了っていうのも大きいんですよ。こういうプログラムとかを学んだ後っていうのは、自分が次のステージに行くため、よりまた新しいビジョンとか、より望ましいステージに行くためには一旦自分の中ではこの心理的な完了をすることがとても大事なんですよ。だから我々よく言うのは、何か上手くいったことがあると、別に大それたことをするんじゃなくて、自分の中で必ずお祝いをして言うんですね。お祝いをして下さいと。お祝いをするとうつが起きるんですよ。その心理的な完了が起きるとまた次のステージっていうのに行けるんで。

塚田：なるほど。しないと逆にそこまでの成功で…

小沼：そうです。心理的完了ができていない、心理的な未完了の状態なんですけれども、この皆伝式の一番大きい目的の一つが心理的完了を皆でちゃんとしようよということですよ。

塚田：なるほどです。そこによって、ちゃんと…

石川：そうです。心理的完了っていうのはとても重要ですよ。ですから、主に経営者の方々をお手伝いさせて頂いていますけれども、やはりものすごく成功なさっている方っていうのは、成功したとしてもものすごく大喜びして、いわゆるその喜んだ状態っていうのを引きずらないんですよ。

かと言って、失敗したからといって、ものすごくその失敗することに対してグチグチ、グチグチ引っ張らない。だから彼らは心理的完了を上手くやるというのがとても重要と言いましょか、効果的に使っているっていうことが一つと、二つ目はやっぱり節目節目で祝いますよね。ですから、節目節目、これは皆伝式っていうことも節目ですよ。

塚田：節目ですね、はい。

石川：それで次に離陸していこうと、こういうことだと思いますよね。

塚田：なるほど。そういった場になっていて…

石川：そうですね。

塚田：もうあとは盛り上がりましょう！っていうことですね。

石川：そうですね。あとはもう一つは、見ているとコミュニティが出来上がっていますよね、ここで。

塚田：ああ、そうですね。

石川：皆さん方と。だから例えオンラインで参加していたとしても、来て同じテーマで、何でしょうか、取り組んできた、その何て言うか、チームとか仲間という感覚がお出来になるようでして、やってきた内容の発表を自ずとして発表し合ったりなんかしていますよね。

塚田：そうですね。ここで発表して実際岩井さんという、先ほどおっしゃられた経営者の方はすぐパートナーができて…

石川：そうなんです。

塚田：発表の場としてもすごく使えるんですね。

石川：そうなんですよね。この場でもって募集なんて言っていましたもんね。

塚田：言われていましたね。

石川：その後すぐできたとか言っていましたね。

塚田：周りに招待状を受け取る場ですね。なんかいいということですね。

石川：はい、はい。

塚田：とにかく皆さんで是非盛り上がりましょう、という形でご用意させて頂いております。こういった形で3ヶ月間で自分自身の脳をマスターして、あなたが思う存分天才性を発揮する理想の人生を手に入れていますということがお約束していけます。実際それによって仕事ですとかパートナーシップですとか、あと50万の収入を得られた方もいますし、役員に抜擢されたり、好きなことで起業したり、また英語がペラペラになったり、使い方は自由っていうことですよね。どんなものであっても。

石川：そういうことです、はい。

塚田：という形で誰もが、誰かが出している結果で、あと聞いて頂ければ本当に色々な結果、他にもたくさんあるので、是非この動画の下の動画も見て頂きたいですし、もう何でも、どんな分野でもブレキなく、出していける形になります。それによって、本当に最高に自分らしい幸せで豊かな人生ようこそ！という形でこういったご紹介をさせて頂いております。

ここからですね、またサポートのご紹介をするんですけども、こちらもまたこのご案内する詳細ページなどでもご案内していくのでサクッとご案内していきたいと思えます。こちら先ほどの通りですね。セミナーがあって、動画が2本あって、音声バックを日々実践していくというのがメインになっていきます。それから受講スタイル、セミナーとそれからオンライン動画、音声で学ぶものになっていまして、1回のセミナーがメインで、ここでも概念ガラッと変えて、あとは毎日行うのはたった3分間音声のみでいいと。

石川：そうですね。

塚田：気軽にできるという形ですね。それが仲間やサポーターと一緒に楽しく実践、ということでFacebookグループですね、こちらとそれから道場、皆で会う機会ですとか、あと皆伝式ですとか、2コース合わせてこの後ご案内するんですけども、どちらのコースでもしっかり皆で仲間と学んでいける状態になっています。それから、もうこれですよ。重要なワークは全て添削します。正直大変ですよ。

小沼：ええ、皆さんのためなら。

塚田：という風に言って下さっているので、大変なのを知ってながらお願いしますので、皆さんも甘えて頂いて、ガッツリ書いて添削をお願いして頂ければと思います。それから困ったらいつでも質問受付フォームでということですね、こういったプログラムよく自分でやって、もう何ともいかなくなってしまう方すごく多いと思うんですけども、絶対聞いて下さい。そこはもう石川先生、小沼さん、伴走されるという風にここは話されると思うんですけども、もう見放さな

いと。

小沼：前回もかなりきましたよね。200 個ぐらいきたんじやないですか？質問かなり相当来ましたよね。

塚田：めちゃめちゃ来ました。200 個ぐらいの質問も普通に全部返して頂いて。

石川：石川大雅の天才性はお節介ですから。確実に伴走しますよ。

塚田：もう逆に離さないぞ、ぐらいの感じで成功まで導いていくというのはよく知っていますので、是非ここも甘えて頂ければと思います、はい。という流れになっております。3ヶ月間のスケジュールですね、こちら6月末のスタートから10月中旬までの3ヶ月弱のプログラムになっていますので、細かい日程はまたこちら今止めてみて頂いてもいいですし、ページの方でご覧になって頂ければと思います。今回先ほどからお伝えしている通り2つコースをご用意させて頂いております。1つ目がですね、こちらリアルコース。こちらが、こちらのスケジュールにもある1ヶ月目、2ヶ月目、3ヶ月目、このセミナーをリアルで会場で受講して頂けるコースになっています。毎回直接会場で受講して、先ほど模造紙のワークもたくさんあったと思うんですけども、あれも本当に実際リアルなその場で石川先生、小沼さんからのフィードバックを受けて作って頂けるメインのコースですね、になっております。もちろん会場で受講できるので、両名先生の直接質問もできますし、あとは非常に重要なのがですね、2回グループコンサルティング、各回に2時間ですね。

期間	6月末～10月上旬
1ヶ月目 未来のフェーズ	芯セミナー開催日程：6月24日(土)10:00～19:00
	レクチャー動画&ワーク音声前半：7月1日(土)～7月14日(金)
	レクチャー動画&ワーク音声後半：7月15日(土)～7月28日(金)
2ヶ月目 過去のフェーズ	セミナー日程：7月29日(土) 10:00～19:00
	レクチャー動画&ワーク音声前半：8月5日(土)～8月18日(金)
	レクチャー動画&ワーク音声後半：8月19日(土)～9月1日(金)
3ヶ月目 現代のフェーズ	セミナー日程：9月2日(土) 10:00～19:00
	レクチャー動画&ワーク音声前半：9月9日(土)～9月22日(金)
	レクチャー動画&ワーク音声後半：9月23日(土)～10月6日(金)
皆伝式 (卒業セミナー)	セミナー日程：10月7日(土)10:00～19:00

小沼：これは、そうですね。受講生さんの声にもありますけれども、このグループコンサルティング受

けるためにね、生まれてきたみたいなことまで…

塚田：ありました。

小沼：本当ありがたいと思うんですけども。ここはすごい重要ですね。

塚田：本当にこれまで受講されたリアルコースの皆さん、全員もうこれのために、もう本当に良かったって風皆さんおっしゃられていますもんね。

小沼：そうですね。

塚田：ちょっと改めて見ますと、本当本質的な問題、やっぱり会わないとわからない無意識的な問題とかもあつたりするんでしょうか？

石川：そうですね。

塚田：ですとか、あと会わないとわからない天才性ですとか。

石川：はい。石川大雅の天才性でもあるんですが、その方ですね、やっぱり無自覚、無意識領域にあることを意識化、気付いて頂いてね、気付いて頂いて、意識化、自覚化するっていうのは得意とするところですよ、はい。

塚田：はい。また私も印象深いのがですね、普通のカウンセリングとかをして、いっぱい話を聞いて言うっていうのはわかるんですけども、石川先生はもう会った瞬間、一言目で一番の問題に一気に何か撃鉄をされるみたいな話をよく聞くんですけども。

石川：そうですね。ですから、あんまり何て言うんですか、時間をかけなかったとしても、その方の抱えていることとか天才性っていうのはある程度わかりますのでね。

塚田：そこはもう五感とか色んな言葉以外のところを見られているっていうことなんですね。

石川：もちろん全部を見ているわけですよ。はい、はい。

塚田：本当にそういったすごい成果を得られているコンサルティング…

石川：ですから、まさに芯観ですよ。

塚田：ああ、芯観ですね、はい。

石川：その方の芯を観ているわけです。ズレているか、ズレていないか。何からズレがきているかっていうこともですよ。

塚田：その人の脳に合ったものを石川先生はパッとやられて、という形ですよ。

石川：そういうことです、はい。自分のプログラムを生きているのか、人様のプログラムをその何て言うか、生きようとしているのかってということもわかりますのでね、はい。

塚田：ありがとうございます。そういった本当会場で模造紙とかのワークを実際フィードバックを受けながらできるというところと、このコンサルティングですね、これが受けられるのがリアルコースの特徴で、芯観の一番の醍醐味はここにあるって言うても過言ではないと思います。

小沼：はい。

塚田：あとは当日の映像ですね。受けた瞬間だけだと忘れてしまうとか、聞き漏らすところもあると思うので、そこは映像も全部プレゼントさせていただきますし、あと動画セミナーですね、各月の前半後半にあるものの全6回の動画セミナー、それから3分間の音声ワーク、芯観道場もちろんリアルの方も参加して頂けます。あとワークの添削、こちらもちろんリアルな方もありまして、この後、オンラインコースの方のサービス、こちら全部受けて頂けるコースになっております。こちらメインのコースですね。それからオンラインのコースですね。こちら全世界でやっぱり東京になかなか、失礼しました、こちらリアルコース全部会場東京ですね、で行うんですけれども、なかなか東京に出づらいですとか、あとはもうセミナーに日程がどうしても埋まってしまっているという方、こういう方だったらオンラインで…

小沼：そうですね。

塚田：受けて頂けるようにこういったコースもご用意させて頂いております。オンラインはもうその日ですね、セミナー当日と一緒に中継で生配信させていただきますので、その場で是非、やっぱりなかなか模造紙のワークとか自分一人でよし、やるぞ！っていうの難しかったりするんで、こちらは是非そのタイミングでやって頂いたり、その一週間の間で取り組んで頂いたりして頂ければと思います。それから芯観道場皆伝式、こういったところでリアルの場で参加してできる機会もご用意させていただきますので、そういったところも活用して頂ければと思います。あとワークの添削と質問ですね、オンラインの方こそ本当に質問して頂きたいですよ。

小沼：そうですね、是非質問して頂きたいですね。オンラインの方、例えば先ほどのアイアムの青山さんなんか、あの方佐賀在住ですからね。佐賀県から来て頂いたりとか。

塚田：そうですね。

小沼：していますから、なかなか物理的な、地理的な関係もあったんで、ああいう風にあの方、どんどん質問して頂いて、上手くいっているんで、そういったことも非常に大事なかなと思います。

塚田：ありがとうございます。先ほど特徴のところでも 6 名これまで成果を出された方、一部をご紹介させて頂くんですけども、3 名がリアルで 3 名がオンラインの方と。

小沼：そうですね。ちょうど半分半分ですね、分けてますよね。

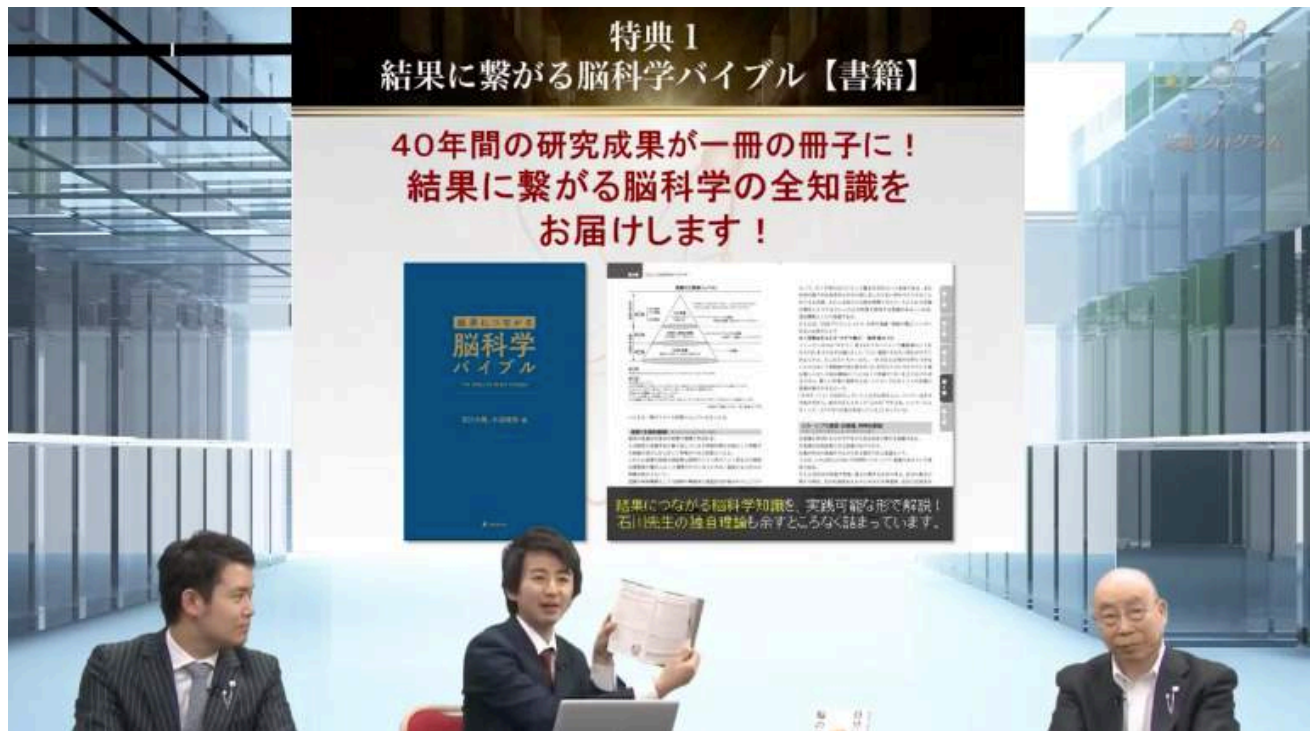
塚田：ですよね。よくこういうプログラムでリアルな人しか結局結果出なかったっていうのもあったりすると思うんですけど、何とオンラインでもガッツリ成果出されている方もたくさんいらっしゃいます。

小沼：ええ、岩井重平さんなんかは仙台ですもんね。

塚田：そうです。仙台ですね。

小沼：仙台でオンラインでしたから。

塚田：皆伝式でも色々素晴らしい発表されてパートナーも得られて、みたいなのもありますので、そういうのはご安心頂ければと思います。はい、あと 3 分間の音声ですね、こちらリアルなオンラインと変わらず毎日実践して頂いて、1 日のほんの少しの時間を投資して結果を出して頂ければと思います。こちら両コース詳しくはまたページの方でもご案内しますので、それでもご確認頂ければと思います。そして、まだあるのか？って感じなんですけれども、特典も今回ご用意させて頂いております。すごい特典をご用意してですね、こちら結果に繋がる脳科学バイブル、こちらですね、なんとこの冒頭から飾ってあったんですけども、こちらどういったものかって言うと、この石川先生が普段使われている脳科学の用語、これが全部まとまったこういった、カメラ寄って頂いてですね、こういった単語がひたすらもういっぱい詰まっているんですね。こちらを、すみません、これ私の私物なんですけど、折れているところとかあったりするんですけども。



小沼：塚田さんも使っていて…

塚田：はい。毎日活用しています。といった形で言葉を知ることってものすごく重要なんですよね？

石川：そうなんです、はい。

塚田：このバイブル、こういった形で使うのが一番効果的なんですか？

石川：これはですね、読み物っていうよりは、読み物っていうのは、1ページ目からずってっていうのが凡例のやり方だと思いますけれども、これは目次もありますのでね、要するに自分がここだっていうところを目次から探して頂いて、そこを読んで頂くっていうやり方が一番よろしいかと思っておりますので、はい。ですから、いつもいつもこの事はどうなんだろうなと思ったら、これを目次から引いて頂ければという風に思っています。尚且つ、これ3つぐらいの項目、カテゴリーから分けていますので、学習に関することとかですね、自分が心に繋がるキーワードとかですね、そういう風に分けていますから、割とお使い頂いている方は使いやすいっていう風に。ですから、いつもいつもこれ、コンパクトですの持ち歩きやすいなんていうようなことも副次的にメリットに、価値としてですね、お認め頂いているなっていう風に感じますね。

塚田：はい。ありがとうございます。本当にですね、結果に繋がるってこちらある通り、もうなんとただの辞書的な意味ではなくてですね、こういう時はこういう風にしなさいみたいな、ようなことも書いて下さっているの、本当に困った時の対処法として私も普段使っております。定価 9800

円で販売しているものを今回無料で皆さんに。

石川：そうですね。あと石川大雅が作り出したメソッドと言いましょかね、概念に関しましても、余すところなく混ぜてますのでね。

塚田：そうですね、人格とか参照データベースとかですね。世界に一つだけの辞書になっております。

石川：はい。お使い頂ければなという風に思っています。

塚田：はい。これをプレゼントさせていただきます。それからですね、特典②脳科学的パートナーシップ診断プログラム&解説BOOKということなんですけれども、こちら石川先生が監修をされて、過去に芯観プログラムに参加された方がメインに作られた、どんなパートナー、理想のパートナーシップを築いていくための診断になっていると。



石川：そうですね。それとあとはパートナーシップって言いましょかね、ご結婚なさっているんですけどもいざこざが絶えないとかですね、どういうところに起因していて、どういう風に対処すればいいのかっていうことがわかるような診断、プログラムになっていますので。

塚田：今の問題と、それからどうしていけばいいか？理想の形がどんな形なのかがわかってくるみたいな感じですね。

石川：そうですね。この方は先ほど言ったように、オンラインで参加した向井ゆかさんっていう方なんですが、高松の方ですよね。この方の天才性っていうのはやっぱり人の応援をするっていうのがとても素晴らしい方なんです。旦那さんもすごい協力者ですよね。ですから、なんせかんせ、色々なプログラム、こういうプログラムっていうのはコンテンツがやりたいと思うような中の一つが、やはりパートナーシップの、パートナーとの関係をやっぱり扱うことをやっていきたいということがまさに天才性ですね。

塚田：それが詰まったテストになっていて、今の状況もわかって、どうすればいいかもわかってくると。

石川：そうです。どうすればいいかもわかって、素晴らしい解説書も付きますのでね。

塚田：はい。ありがとうございます。といった形でパートナーシップで、願望とか、あと問題を持たれている方も是非見て頂きたいという…

小沼：そうですね。

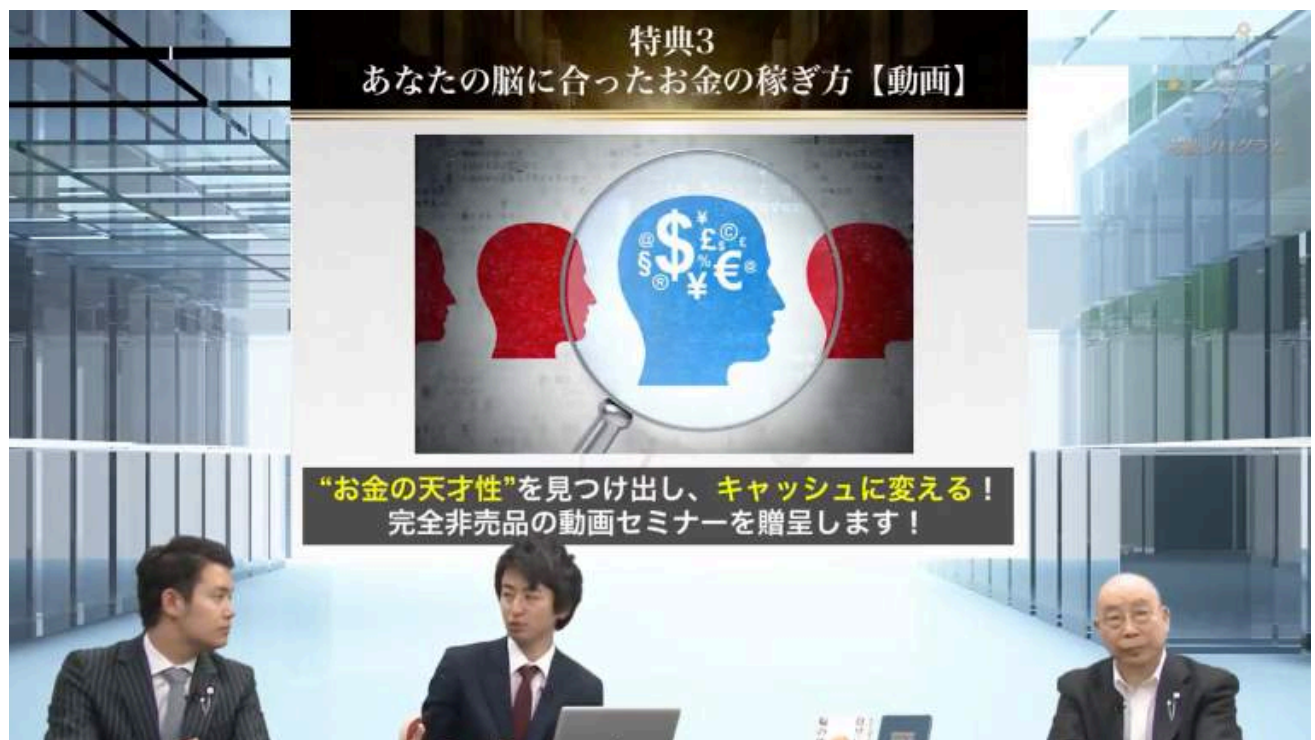
塚田：内容ですね。はい。ありがとうございます。続いてはあと特典③ですね。こちら動画講義になっていまして、あなたの脳に合ったお金の稼ぎ方ということで、合脳的な、お金へのアプローチ方法も見出していき、こういった特典も付けさせていただきます。個人個人脳に合ったお金の作り方も変わってきたりするんでしょうか？

小沼：そうですね、はい。お金っていうところはかなりビジョンにも密接に関わってくるところですよね。ですからこういった特典を付けることでまた自分のビジネスにも直結する学びになるんじゃないかなと思いますので、こちら是非学んで頂ければと思います。

塚田：ある意味、お金は即効性のあるところですよね。

小沼：そうですね。

塚田：はい、ありがとうございます。こういった豪華な3つの特典も付けさせていただきますのでご活用頂ければと思います。はい、ではここまで長く紹介させて頂いたんですけども、芯観プログラムを受けることでもたせられる変化、ここに上がっている通りの変化が、今までで当たり前起きてきている変化ですね。一部ご紹介をさせて頂いております。年収1千万、お金の面ですとか、あとは女性、パートナーシップですね、特典にもあったんですけども1週間後にプロポーズされた女性がいたりですとか、あとは企業の中でも3ヶ月で社内トップになった方がいたり、記憶力、IQ、処理速度が激増したり、こういったあり得ない結果がたくさん出ていて、今日何人結果を紹介したかわからないぐらい…



石川：そうですね。

塚田：ご紹介させて頂いたんですけれども、そういった圧倒的なスピードで結果が出るというところがこのプログラムの特徴になっています。なので、こんな方に受けて欲しい、というところでまとめさせて頂きました。自分の好きな仕事で経済的豊かになって収入をアップしたいですとか、本当にやりたいことがわからない、それを見つけないっていう方ですとか、また結婚したいっていう方はもちろんですね、あと行動できなくて困っているですとか、もっともっと成長していきたいけどなかなかそういうきっかけがないっていう方ですとか、本当ここに書いてある方はもう全員すごい結果が得て頂けるんじゃないかなと思います。石川先生と小沼さんの方から何かこういう方に来て欲しいみたいなものってありますでしょうか？

小沼：そうですね。やっぱり自分のビジョンを描いてもなかなかこれまで実現できなかった方って我々もたくさん講演してきて、そしてこの芯観メソッド受けて頂くことで本当に自分の望ましいビジョンをまず構築して、そして実現に向かって本当に実感できていますっていう声、たくさん頂くんですね。だから本当にそういった自分の未来に対して何か漠然とした不安とか、何か今までビジョン描けなかったからこそそういった方には来て欲しいなと思いますね。

塚田：なるほど。本当にビジョンっていう形だからこそ、色んな結果が当たり前、人によって本当にもう全ビジョン…

小沼：そうですね。

塚田：違うものが実現していくという形ですね。

小沼：はい。

塚田：ありがとうございます。石川先生の方から…

石川：要するにもう既にね、事業なさっている方も来て頂きたいなっていう風に思います。自分の社員さんとの問題とかですね、どうして解決しないんだろうか？っていうことはこの中から解決することがたくさん自分で気が付いて脱出するってことの経営者もたくさん見てきておりますので、是非来て頂きたいなと思っております、はい。

塚田：はい。ありがとうございます。本当にどんな悩みを持っている方でも脳っていう切り口は誰にでも当たり前に見えるところですので、是非本当に今自分が一番欲しいもの、一番足りていないなと思っているもの、そういったものを見ながら要はどういったところで使っていこうかなというのを考えて頂ければと思います。

石川：投資した分は回収できると思います。

塚田：本当ですよ。今までほとんどの方、そうですもんね。

石川：はい。だから今まで色んなことを学んできたり、色んなエネルギーを使ってきて、色んな投資したんだけどなかなか上手くいかなかったっていう人ほど来て頂きたいなと思います。

塚田：あ、それはこのプログラムに投資じゃなくて、これまでの投資全部っていう…

石川：そうです。今までの投資っていうことですよ。

塚田：そうですよね。投資してきたものが全部ここにちゃんと…

石川：あるんです。

塚田：ストックがされているという…

石川：ただ、それを効果的に自分のものにして、自分の脳に合ったようにして、尚且つ望ましい状態ということを見極めながら全部使うということですからね。だから今までやったことは無駄ではなかったんだということの声はいつも聞きますから、はい。



塚田：ありがとうございます。はい、じゃあ、最後ですね、こちら申込方法についてご案内をさせて頂きたいと思います。まずは申込方法ですね、今回期間限定とさせて頂きたいと思います。人数もかなり絞っていますし、本当にコミットしてこのプログラムで学びたいという方、この60時間限定という形でご案内をさせて頂きたいと思います。火曜日から金曜日のこのお時間ですね、先着順となりますので、その点はご了承頂ければと思います。そして申込金額ですね、参加費用につきましては、この後もう最終的な調整をさせて頂きまして申込前には必ずご案内をさせて頂きませす。申込と同時に公開という形ではなくて事前にご案内をさせて頂きますのでそれはお待ち頂ければと思います。

優先案内について

「どうしても参加したい！」
という方のために、

一般募集より、**6時間早い**
5月16日6時に受付可能の
優先案内を行います！

はい、そしてですね、どうしても参加したいという方、多分いらっしゃると思うんですね。あとなかなか日中は会社で12時というお時間だと難しいという声もよく聞きますし、本当に安心して申込みたいと、会社に行く前に申込んでおきたいという声もよく聞きますので、一般募集よりも少し早い朝6時の段階で受付可能は最優先案内というのを今回ご用意させて頂きたいと思っております。こちら6時間早くお申込み頂けますので、この動画の下の方に最優先申込登録フォームというものがございます。こちらに登録して頂く方のみ、早めに情報をお届けさせて頂きますので、そこで安心の上、お早めにお申込み頂ければと思います。今回そうやって早く、より早く参加したいという本当に意気込みを持たれている方に特別な特典もご用意させて頂いております。まず1つ目はですね、こちら1ヶ月目の未来のフェーズですね、こちらでも使用していく創造脳を作る特殊音源、こちらもプレゼントをさせて頂きたいと思っております。これは特殊の脳波の状態になれるんですよ？

最優先特典 1 創造脳を作る特殊音源

ただ聞くだけで、
創造的な変性意識状態に入れる
特殊音源をプレゼント



小沼：そうですね、はい。

塚田：そういった形でこの音源を聞くことでビジョン作りにも役立ちますし、その他のことにも役立ていけるのでしょうか？

石川：そうですね、はい。

塚田：はい、クリエイティブなところではすごく使っていける音源になっているということですので、是非使って頂ければと思います。もう 1 つの特典がすごいんですけども、なんと今回特別にセミナーに早めにご参加を決めて頂いた方にのみ特別セミナーにご招待をさせて頂きたいと思えます。自分の脳に合った学び方というところですね、今回プログラムのテーマの一つでもあったその点につきまして、具体的に 6 時間ガッツリ学べるセミナーの方を、こちらご招待をさせて頂きます。セミナーもあんまり開催されないんですかね？

**最優先特典2
石川大雅先生 特別セミナーにご招待！**

**自分の脳に合った
学び方の極意**

- ・ 9月3日(日)都内で開催予定
- ・ 当日の映像はすべてプレゼント！
ご参加できない方もご安心ください
- ・ オンラインコースの方も、本特典セミナーにはご参加いただけます。

**最優先登録者限定で
6時間超のセミナーに無料ご招待します！**

小沼：ええ、やっていないです、今はね。石川大雅、一般のセミナーをしていないので。

塚田：もう正直プレゼントとかあり得ないことですよ。

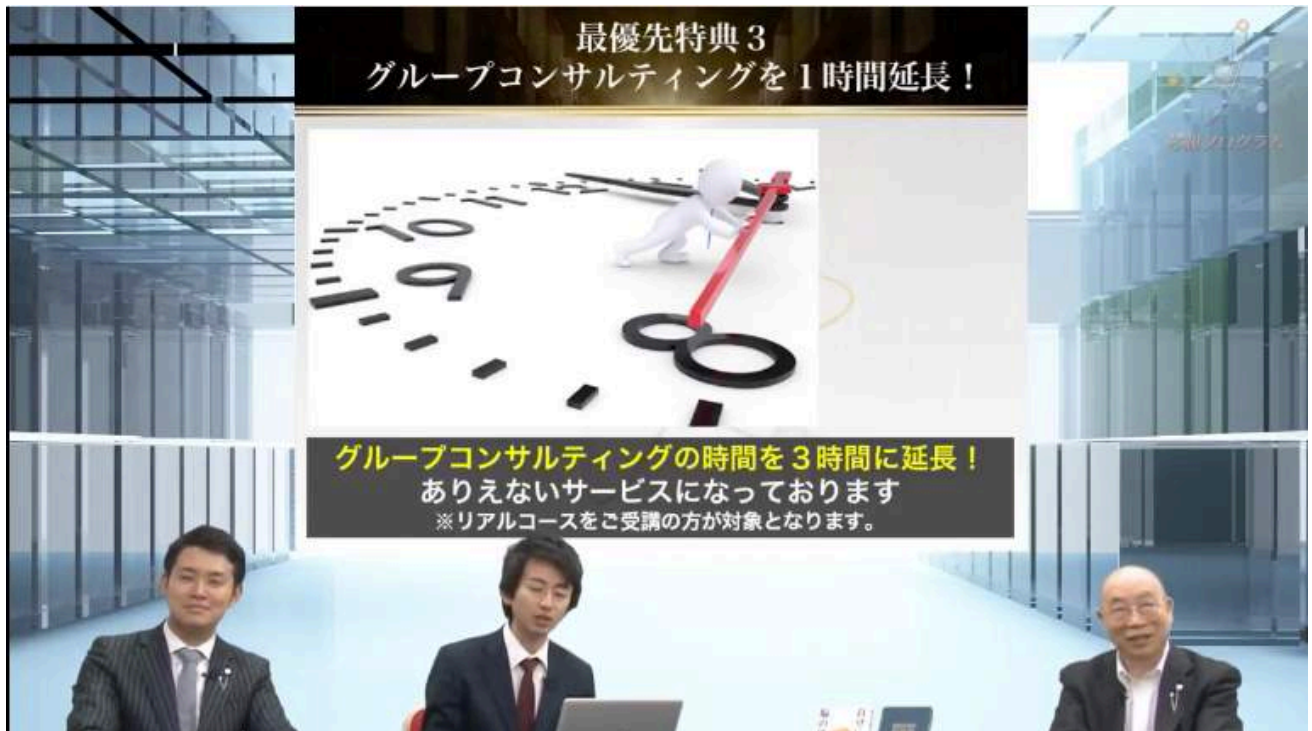
小沼：そうですね。

塚田：というところは、あり得ないところを無理をしてやって頂くという形に。

小沼：学び方ね、とても大事なので。

塚田：そこもやっぱり興味をお持ちの方、すごく多かったということですよ？

小沼：そうですね。



塚田：これ6時間という長時間、自分に合った学び方を手に入れて頂けるセミナーにさせていただきますので、是非楽しみにお待ち頂ければと思います。もう1個の特典もすごいんですけども、グループコンサルティング、こちらリアルコースの方限定ですね。リアルコースの方はグループコンサルティング2時間のものが3時間の特別な枠の方でご参加頂ける、招待枠をご用意させて頂きたいと思います。3時間も相当あり得ないほどの会となっておりますので、もう本当にガッツリお一人お一人すごい詳しくご質問できるような形になっていきますので、こちらも最優先の早めにご参加を決意して頂いた方だけの特典になっていきますので手に入れて頂ければと思います。はい、ではこちら優先案内ですね、こちら最優先期間、こちらの朝6時からお昼の12時までの6時間限定となっておりますので、是非こちらの期間にお申込み頂いて、先ほど3つの特典を手に入れて頂ければと思います。はい。ではご案内は以上になるんですけども、最後に石川先生と小沼さんからメッセージの方を頂きたいと思います。小沼さんからよろしいでしょうか？

優先案内について

少しでも気になる方、最優先特典をご希望の方は、最優先案内にお申し込みください！

最優先案内期間は

5月16日(火)6時~12時
の6時間の間となります。



小沼：はい。まずここまで本当に4回の動画講座にお付き合い頂きましてありがとうございました。またたくさんの皆さんからのコメントを石川と共にですね、拝見して私たちもたくさん本当気付きがあって、また皆さんとこういう風にコミュニケーションが取れて本当に嬉しく思っています。この芯観プログラムというのはですね、これまでも開催してきて本当に今日ご紹介した方の実績ですとか、感想、またそういった気付き、本当にたくさんあるんですけども、その一部をご紹介させて頂きました。我々もですね、こういうフォレスト出版さんと一緒にご縁を頂いて、この芯観プログラムを初めて開催した時から、また今なって、様々な皆さんの、受講生さんからの本当に実績、こういったことが蓄積されて本当に皆さんにたくさん受けて頂いて、お声頂いて本当に嬉しく思っています。

だからこそ、より皆さんから受けて頂いた方、過去の受講生さんの頂いたですね、またそういった方々から頂いた学びもよりプラスのものにして、どんどん、どんどんバージョンアップして提供させて頂きたいなと思っています。私自身も石川大雅の元で学んだのが2012年の3月から石川大雅と共にですね、やっているんですけども、私自身もですね、本当に何かこう自分のビジョンが描けなかった状態、自分のビジョンに本当に漠然とした不安を抱えていた状態で石川と一緒にやらせてもらって、そして今逆の講師という立場でお届けさせてもらっていて、より皆さんと近い目線でセミナー、或いは芯観道場とか、そういった場で皆さんとより近い目線で触れ合うということを私自身はすごく大切にしている価値観です。ですから、芯観のWEBの質問でもそうですし、また添削ワークでもですね、気軽にご質問頂いて、より皆さんと近い目線で共に伴走していければと思っています。そして、合脳的な学び方を身に付けて、皆さん自身が活躍できる人材になる、少しでもお手伝いができればと思っていますので、本当にここまで動画ご視聴頂いてありがと

うございました。また、機会があればお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございます。

塚田：小沼さん、ありがとうございます。では石川先生、よろしいでしょうか。

石川：はい。長時間に渡りましてご視聴して頂きまして、本当にありがとうございます。この基本となった芯観のプログラムというのはもう何十年に渡って、企業で、特定な企業で実施していて業績を上げてきたものなんですね。ですからこれをフォレスト出版さんのこの主催、尚且つ塚田さんによるプロデュースということで多くの方々に接する、提供できるっていう機会を頂いたという点に関しては、本当にありがたいなという風に思っています。

何故ならば、私世界平和人材の育成ということがある種の天命だという風に、ミッションだと思っておりますもんですから、やはりこういう風に自分に合ったプログラムを、合脳的なアプローチ、または目的を明確にした合脳的なですね、合目的なアプローチっていうこういうプログラムが、メソッドが多くの中の方々に提供できて、効果的な望むものを手に入れて頂くということは膨大な私の喜びでもありますので、共にお会いさせて頂いて喜びを分かち合いたいという風に思っておりますので、またお会いする機会が、直接又はオンライン上でですね、お会いする機会があれば本当に私としてもありがたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。本当に長時間に渡りましてありがとうございます。御礼を申し上げます。ありがとうございます。

塚田：はい、石川先生、本当にありがとうございます。皆さんもここまで長時間本当にご覧頂きまして、ありがとうございました。今回お伝えした内容は本当に皆さんの今後の生活に少しでも役立てばすごく嬉しいと思いますし、3ヶ月間プログラムに参加される方は、それによって本当に願いが叶うっていうのを目的にやっているプログラムですので、是非必死に皆さんの成功をお祈りして、サポートさせて頂きたいと思っておりますので、またお会いできるのを楽しみにお待ちしております。はい。

最後にですね、こちら今回もレッスン4のコメント特典ですね、こちらご用意させて頂いております。こちらのコメント特典、今回少しお話させて頂いたビジョンのお話ですね、ビジョンをどう作っていくのかっていうところで、自分で簡単にできるようなやり方もご紹介していますので、是非こちらも手に入れて実践して頂ければと思います。そして最優先案内ですね、こちら動画の下の方にフォームがご用意させて頂いておりますので、少しでも興味がありまして、特典3つ最優先特典手に入れて、あとはかなりの人数の方から毎回最優先の登録を頂いておりますので、本当にこの機会を逃したくないという方いらっしゃいましたら、是非すぐに登録して頂ければと思います。朝の6時にご案内させて頂きますので、お待ち頂ければと思います。それではこの後もですね、詳細のご案内などメールで引き続きご案内させて頂きますので、引き続き芯観実践講座からのご案内をお待ち頂ければと思います。本当に長時間、石川先生、小沼さんもありがとうございました。

小沼：ありがとうございました。

塚田：皆さんも本当にここまでご視聴頂き、ありがとうございました。皆さんの成功を心よりお祈りしております。ありがとうございました。

石川・小沼：ありがとうございました。

第4話のご受講、ありがとうございました！

本講座は **参加型** の実践プログラムです。

第4話についての感想や質問を

コメント投稿フォームへご投稿お願いいたします。

コメントをいただいた方全員に

特別プレゼントをご用意しています！

コメント特典第4段

『時空を超えてリソースを引き出す

未来記憶を創造する7ステップ』[PDF]

夢・ビジョン・願望・予定は想起した時点で脳内の“未来のデータベース”に貯蔵されます。

適切な未来記憶を設定しておくことで、願望実現、目標達成の速度は驚くほどに加速していきます！今回はその7ステップをお伝えします！

時空を超えてリソースを引き出す！

未来記憶を
創造する
7ステップ



ぜひ、手に入れてさらなる理解にお役立てくださいね。

第4話をご受講いただき、誠にありがとうございました！

芯観実践講座 運営事務局一同

★コメント、コメント特典のご請求はこちらから

⇒<http://www.forestpub.co.jp/shinkan2/l4shinkan/>

上記コメントフォームで、次の質問にお答えください！

- ① 第4話でのあなたの学びや気づき、感想
- ② (芯観プログラムに参加した場合) 3ヶ月後に達成したいこと？
- ③ 石川先生・小沼さんに聞いてみたいこと、メッセージ